

【資料】

資料① 単元を通じた課題解決シートの説明

資料② 教材研究における
意思決定を伴う「単元の課題」を作成する
までの流れ

資料③ 学習指導案

- ③-1 江戸幕府の成立と対外関係
- ③-2 産業の発達と幕府政治の動き
- ③-3 欧米の進出と日本の開国

本資料に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。
<各社の商標又は登録商標>

Google、Google ドキュメント、Google スプレッドシート、Google Forms、Google Jamboard、Google Workspace、Google サイト、Google マップ、Chromebookは、Google LLCの商標又は登録商標です。

なお、本文中には ™ マーク、® マークは明記していません。

令和4年度 長期研修員
久保野 雅之

資料①

単元を通した課題解決シートの説明

意思決定を伴う「単元の課題」。「自分としてはどう考えるか」を問うことで、現時点の知識や経験から自分の考えをもつことができる。このような課題であれば、各単位時間においても単元の課題に対する自分の考えをもつことができるので、常に単元の課題を意識しながら学習に取り組むことができる。

黄色い部分は、教師が専用シートに入力すると、生徒のシートに反映されるようになっており、生徒は変更できないようになっている。白い部分は生徒が各自で入力する部分となっている。

学習の流れ

単元の課題	あなたは、日本のために、開国すべきだったと思いますか、鎖国を続けるべきだったと思いますか。			
最初の考え	プルダウンで選択	授業を振り返って思ったこと・感じたこと		
	そのように判断した理由			
追究内容	今日のめあて	学習後の振り返り		
		今日のまとめ	学習後の判断	判断を変えた理由or判断を変えなかった理由
政治への影響	開国によって、日本の政治はどのような影響を受けたのか？	尊王攘夷運動が盛んになり、井伊直弼が暗殺され、幕府の権威が大きく失われた。		思ったこと・感じたこと・考えたこと・新たな疑問点などについて
経済への影響	開国によって、日本の経済はどのような影響を受けたのか？	貿易が始まったことにより、物価が上昇したり、国内の手工業が打撃を受けたりしたため、国民の生活が苦しくなった。		
幕府の滅亡	どのような経緯で、江戸幕府が滅んだのだろうか。	攘夷が困難と気付いた薩長が倒幕に動き、庶民の世直し一揆も多発した。そうした中で、幕府は大政奉還を行い、滅亡した。		
最後の考え	プルダウンで選択			
	そのように判断した理由	最初と最後の考えを比較することで、考えの深まりを実感することができる。		
これまでの学習を踏まえたまとめ	江戸幕府が滅亡した理由について、欧米諸国の進出や開国の影響に注目してまとめてみよう。			
単元の振り返り	予想と比較して感じたこと、学習してみて感じたこと、新たな疑問、学習方法、友達の意見についてなどを振り返ろう。			

〈単元の「つかむ」過程〉

単元の課題をつかんだ後、小学校の既習事項などを基に、最初の考えを入力する。判断は、「開国すべき」「鎖国を続けるべき」のプルダウンになっている。判断後、「そのように判断した理由」を入力する。

〈単元の「追究する」過程〉

つかむ過程で学習計画を立てるため、「追究内容」と「今日のめあて」は、導入の場面で、生徒とのやり取りを通して、教師が入力する。単位時間の学習が終わると、生徒と授業を振り返りながら、「今日のまとめ」を行う。生徒は「今日のまとめ」を中心に学習を振り返り、「学習後の判断」を行う。ここも「開国すべき」「鎖国を続けるべき」のプルダウンになっている。判断ができたなら、「判断を変えた理由or判断を変えなかった理由」を入力する。そして最後に、「思ったこと・感じたこと・考えたこと・新たな疑問点などについて」授業を振り返って入力する。

このように、単位時間ごとに学習したことを踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを再検討することを繰り返す。多面的・多角的な視点が加わっていく単元構成のため、生徒は考えを徐々に深めていくことができる。

〈単元の「まとめる」過程〉

交流の場面では、ディベートという形ではなく、傾聴を意識させ、更に新たな気付きや視点を獲得していけるようにする。そして自他の考えの比較・関連付けを通して、最後の考えを入力する。判断はプルダウンになっている。判断後、「そのように判断した理由」を入力する。

その後、「これまでの学習を踏まえたまとめ」を行う。「今日のまとめ」は、ここで活用できるように端的にまとめてあるため、生徒は「今日のまとめ」を参考にしながら、自分の言葉でまとめていくことができる。

「単元の振り返り」では、「予想と比較して感じたこと」「新たな疑問」「学習方法」など視点を提示することで、学習に対する充実感を得たり、単元間のつながりを意識できたりするなど、充実した振り返りにすることができる。

～意思決定を伴う「単元の課題」を作成するまでの流れ～

「欧米の進出と日本の開国」を例に、意思決定を伴う「単元の課題」の作成に関する、教材研究の流れを説明します。

資料②

①学習指導要領の確認

(ア) 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き

(前略) アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解すること。

(内容の取り扱い)

(1) のアの(イ)の「開国とその影響」については、(1) のアの(ア)の欧米諸国のアジア進出と関連付けて取り扱うようにすること。

(イ) 明治維新と近代国家の形成

開国とその影響、(中略) 人々の生活が大きく変化したことを理解すること。

〈中学校学習指導要領解説より〉

開国とその影響については、(中略) その政治的及び社会的な影響を踏まえ、それが明治維新の動きを生み出したことに気付くことができるようにする。

②単元の目標と評価規準の作成 (省略)

③意思決定を伴う単元の課題の作成

①



指導要領を確認すると「開国とその影響」がポイントだな。そこを単元を通して考えながら、単元の目標を達成していける課題がいいな。

その通り！面白そうな課題でも、1時間で判断して終わりとか、単元の目標とかけ離れてはだめだニャ。



②



『開国の影響を一番受けたのは幕府か庶民か』ってどうだろう？

面白そうだけど、「欧米諸国のアジア進出」と関連付けたり、「政治的及び社会的影響」を踏まえたりして単元構成できるかニャー…。



④



『開国すべきだったのか、鎖国を続けるべきだったのか』ってどう？「欧米諸国のアジア進出」の学習も判断材料になるし、開国の影響を政治的影響と社会的影響に分けて単元構成すれば面白そうだよ。

いいね。後は、みんなが同じ視点で考えた方がいいと思うニャ。「庶民のため」「日本のため」など、どういう視点から考えさせたい？



③



ところで、開国してなかったら、江戸時代の政治や社会はどうなっていたのかニャ？

不平等条約に関わる混乱がないから倒幕の動きはさほどないだろうし、貿易による経済の混乱もないよね。でも、幕府政治も行き詰まっていたから鎖国を続けていても…難しいなあ。



⑤



そうか。『あなたは、日本のために、開国すべきだと思いませんか、鎖国を続けるべきだと思いませんか』ってどう？

「あなたは」だと自分ごととして考えやすいし、「日本のため」という視点で全員が考えるから、交流したときに考えが深まりやすいニャー。



〈意思決定を伴う「単元の課題」の作成ポイント〉

- ・ 学習指導要領を確認してポイントを押さえる。
- ・ 単元を通して再検討を繰り返すことができ、その過程で単元の目標が達成できるような課題にする。
- ・ 交流を通して生徒の考えが深まるように、立場や視点を統一する。
- ・ できる限りシンプルな表現にする。



1 単元名 近世の日本「江戸幕府の成立と対外政策」

2 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説社会編、歴史的分野の中項目「（3）近世の日本」の「（イ）江戸幕府の成立と対外関係」に位置付けられている。ここでは、二つのねらいがある。一つ目は、江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解することである。二つ目は、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することである。また、「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題を設定し、考察の結果を表現する活動を通して、ねらいを実現することが大切であるとしている。

そこで本単元では、①江戸幕府の成立と大名統制、②様々な身分と暮らしの様子、③幕府の対外政策、④鎖国下の対外関係、を主に学習する。①では、親藩や譜代大名、外様大名の配置についての資料を読み取り考察する活動を通して、江戸幕府が行った大名統制の方法について理解できるようにする。②では、村の自治や五人組の制度について考察する活動を通して、江戸幕府が行った百姓統制の方法について理解するとともに、農村が幕府や藩の経済を支えていたことに気付くことができるようにする。③では、朱印船貿易と鎖国の目的を考察する活動を通して、外交政策には、海外情報の統制、大名の統制など様々な目的があったことを理解できるようにする。④では、四つの窓口について考察する活動を通して、統制の中でも交易や交流があったことを理解できるようにする。

これらの学習は、共通点を見いだしたり、語句を分類したりする活動が多いため、ICTを活用することで、考えを整理したり、深めたりすることが行いやすくなる。また、単元の「つかむ」過程では、「統一政権の諸政策の目的」などに着目することで課題解決に向かうことができる「あなたは、安定した世の中にするためには、誰（大名、百姓、諸外国）に対する政策を一番重視すべきだと考えますか」という単元の課題が設定できる。このような単元の課題は、意思決定を伴うため、自分の考えがもちやすく、学習が進むにつれて、自分の考えが深まっていくことが実感しやすい。これらのことが本単元を学習することの意義であると考えられる。

3 指導方針

- ・単元の「つかむ」過程で、現時点の経験や既習事項踏まえて、自分なりの判断ができるように、「賛成か反対か」、「どれが一番よいと考えるか」といった意思決定を伴う「単元の課題」を設定する。そのような課題を設定することを通して、自分なりの考えをもたせる。
- ・単元の「追究する」過程の振り返りの場面で、単位時間ごとに単元の課題に対する自分の考えを、単位時間の学習を踏まえてもう一度見直し、判断を変更したり、判断の理由を深めたりする活動を取り入れる。そのような活動を単位時間ごとに繰り返すことで、生徒の考えを深めさせていく。
- ・単元の「まとめる」過程で、生徒同士で考えを交流する活動を取り入れる。これまで、単位時間ごとに自分の考えを再検討してきているため、生徒は自分の考えに自信をもつことができている。交流する場面では、様々な意見があること、どれも間違いではないことを伝え、自信をもって発表させる。また、交流を踏まえて、自分の考えを再検討させることで、考えを更に深めさせていく。
- ・単元の「まとめる」過程で、「つかむ」過程における自分の考えと、学習を終えた際の自分の考えを比較する活動を通して、自分の考えの深まりに気付かせ、学習に対する充実感を得させる。
- ・全体を通して、ICTを活用し、学習の効率化を図ったり、思考する活動を有意義なものにしたりする。

4 単元の目標

(1) 知識及び技能

江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を身に付ける。

5 単元の評価規準

(1) 知識・技能

江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。

(2) 思考・判断・表現

統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

6 指導と評価の計画（全6時間）

過程	時間		重点	
		●ねらい ○学習活動 [☆] : ICT活用		◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●江戸時代に関する資料を基に、単元の課題を立てる活動を通して、江戸幕府の支配の特色を追究する意欲をもてるようにする。</p> <p>○江戸時代について知っていることを発表する。</p> <p>○江戸時代がどれくらい続いたかを調べる。</p> <p>○調べた政策が誰に対するものかを班で分類する。 [☆]</p> <p>○単元の課題をつかむ。</p> <p>○単元の課題に対する自分の考えを、タブレット端末を用いて入力する。 [☆]</p>	態	◇単元の課題に対する自分の考えをもち、これからの追究活動に対する意欲をもっている。 〈課題解決シート、発言(主体態)〉 [記]
		<p>[本時のめあて]</p> <p>これまでの学習を振り返り、単元の課題を立てよう。</p>		
<p>[単元の課題]</p> <p>あなたは、安定した世の中にするために、誰(大名、百姓、諸外国)に対する政策を一番重視すべきだと考えますか？</p>				

<p>追究する</p>	<p>2 ●親藩や譜代大名、外様大名の配置についての資料を読み取り考察する活動を通して、江戸幕府が行った大名統制の方法について理解できるようにする。 ○大名配置についての資料を読み取り、配置理由について考察する。 ○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆]</p> <div data-bbox="284 405 994 555" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて] 安定した世の中にするために、幕府は大名に対してどのような政策を行ったのか。</p> </div>	<p>知 ◇江戸との距離に着目して資料を読み取り、徳川幕府の大名統制について理解している。 〈ワークシート、発言（知技）〉 ◇大名の統制方法に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
	<p>3 ●村の自治や五人組の制度について考察する活動を通して、江戸幕府が行った百姓統制の方法について理解するとともに、農村が幕府や藩の経済を支えていたことに気付くことができるようにする。 ○百姓の支配方法を調べ、班で共通点を考察する。 [☆] ○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆]</p> <div data-bbox="284 815 994 965" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて] 安定した世の中にするために、幕府は百姓に対してどのような政策を行ったのか。</p> </div>	<p>知 ◇村の運営方法や五人組の仕組みに着目して、江戸幕府が行った百姓の統制方法について理解している。 〈プリント、発言（知技）〉 ◇百姓の統制方法に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
	<p>4 ●朱印船貿易と鎖国の目的を考察する活動を通して、外交政策には、海外情報の統制、大名の統制など様々な目的があったことを理解できるようにする。 ○朱印船貿易の仕組みを調べ、朱印船貿易の目的について、班で考察する。 [☆] ○鎖国までの経緯を年表にまとめる。 [☆] ○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆]</p> <div data-bbox="284 1272 994 1422" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて] 安定した世の中にするために、幕府はどのような外交政策を行ったのか。</p> </div>	<p>知 ◇朱印船貿易の仕組みや鎖国の経緯に着目して、江戸幕府の外交政策について理解している。 〈プリント、発言（知技）〉 ◇外交政策に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
	<p>5 ●四つの窓口についてまとめて、考察する活動を通して、統制の中でも交易や交流があったことを理解できるようにする。 ○四つの窓口についてまとめて、考察する。 ○大名、百姓、諸外国に対する影響を考察する。 ○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆]</p> <div data-bbox="284 1704 994 1854" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて] 安定した世の中にするために、幕府は限られた外国との関わりをどのように利用したのか。</p> </div>	<p>知 ◇四つの窓口の場所や貿易相手などに着目して、江戸幕府の外交関係について理解している。 〈プリント、発言（知技）〉 ◇外交関係に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>

まとめ	<p>●現時点における自分の考えと他者の考えとの交流を通して、新たな気付きや、異なる立場の意見を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>○自分の考えを他者と交流する。 [☆] ○交流を踏まえて自分の考えを再検討する。 [☆] 6 ○次単元とのつながりをもつ。 [☆] ○「つかむ」過程における自分の考えと、現時点の自分の考えを比較する。 [☆] ○単元の振り返りを行う。 [☆]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて] 友達との意見交流を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えをまとめよう。</p> </div>	<p>思 態 ◇多面的・多角的に単元のめあてについて考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉 [記] ◇江戸幕府の成立と対外政策について、そこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとしている。 〈課題解決シート、発言（主体態）〉 [記]</p>
-----	--	---

7 第1時の展開

(1) ねらい

江戸時代に関する資料を基に、単元の課題を立てる活動を通して、江戸幕府の支配の特色を追究する意欲をもてるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

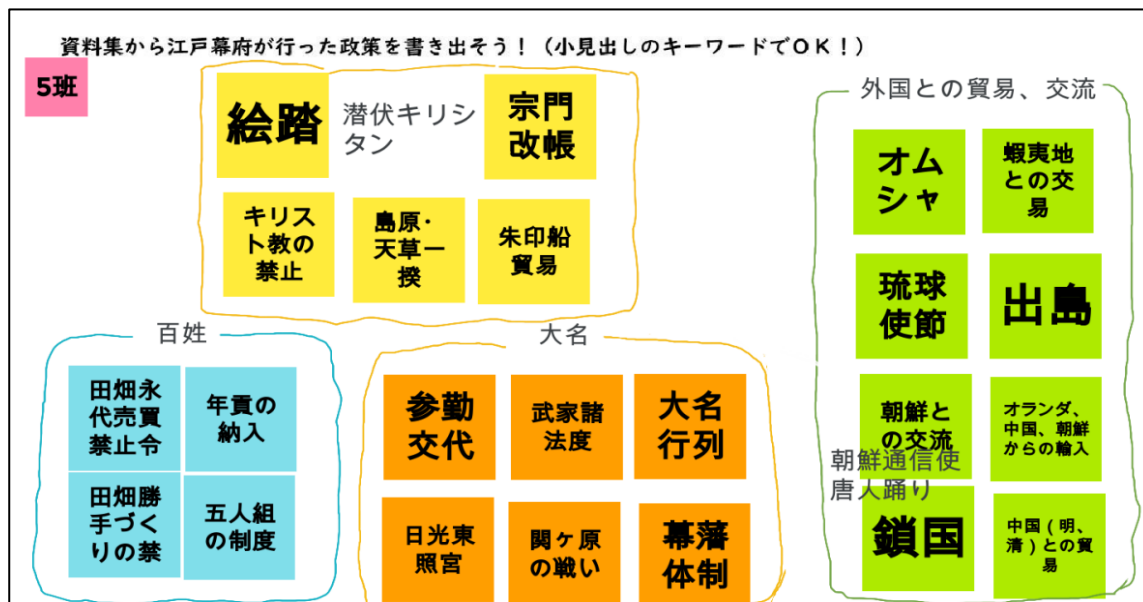
(3) 展開

時間	<p>○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価</p>
導入 7分	<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○江戸時代について知っていることを発表する。 ・徳川家康、参勤交代、徳川家光、鎖国 など</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて] 江戸時代に関する資料を基に、単元の課題を立てよう。</p> </div>	<p>○前向きに学習に取り組めるように、知っていることを自由に発表させ、発表内容を称賛する。</p>
展開 ① 20分	<p>2 単元の課題をつかむ。 ○江戸時代がどれくらい続いたかを予想する。 ・江戸時代は、265年くらい続いている。安土桃山時代は30年くらいだ。江戸時代は長い。 ○江戸幕府が行った政策を調べる。 ・武家諸法度、鎖国、五人組 など ○調べた政策が誰に対するものかを班で分類する。 [☆] ・武家諸法度は大名に対して、鎖国は外国に対して、五人組は百姓に対してだ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[単元の課題] あなたは、安定した世の中にするために、誰（大名、百姓、諸外国）に対する政策を一番重視すべきだと考えますか？</p> </div>	<p>○江戸時代の長さを実感できるように、安土桃山時代の長さと比較をする。 ○江戸時代が長く続いたことに対して、戦国の世の中から平和の世の中になったからという理由だけではなく、江戸幕府が様々な政策を打ち出して安定した世の中にしていったからという予想をもてるようにする。 ○班で資料集を基に、江戸幕府が行った政策を Google Jamboard に挙げさせる。その際、調べ学習を簡潔に行うため、資料集の小見出しに着目させ、政策名だけを付箋に書かせるようにする（政策分類シート）。 ◎「誰に対する政策か」と問い掛け、百姓、大名、諸外国という視点をつかめるようにする。</p>

展開 ② 18分	3 単元の課題に対する見通しをもつ。 ○予想を立てる。[☆] ・大名：下剋上されたら滅ぶから ・百姓：年貢が上がってこないと武士は生活できないから ・諸外国：キリスト教が入ってくると大変だから ○予想を発表する。 ○学習計画を立てる。 ・大名に対する政策、百姓に対する政策、諸外国に対する政策を調べていけば、判断の根拠が明確になる。	◎課題解決シートに自分の予想を入力する。その際、現時点での判断理由も合わせて書くように声掛けをする。 ●なかなか判断できない生徒には、「江戸時代は誰が中心の時代だと思うか」と発問することで、判断を促す。 ○様々な考えがあることや、自分の判断の根拠が不明確であることに気付かせるために、現時点の予想を発表させる。
まとめ 5分	4 本時の学習を振り返る。 ○今日の振り返りを課題解決シートに記入する。[☆] ・私は大名を重視するべきと思ったので、江戸幕府がどのように大名を支配したのかを調べて、自分の判断の根拠をもてるようにしたい。	◇単元の課題に対する自分の考えをもち、これからの追究活動に対する意欲をもっている。 〈課題解決シート、発言（主体態）〉 [記]

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①江戸幕府の長さに関する Google スライド</p> <p>②各班の Google Jamboard</p> <p>③本時の振り返り</p>	<p>めあて江戸時代に関する資料を基に、単元の課題を立てよう。</p> <p>〈知っていること〉 徳川家康、徳川家光、参勤交代、出島、鎖国…</p> <p>単元の課題 あなたは、安定した世の中にするために、誰（大名、百姓、諸外国）に対する政策を一番重視すべきだと考えますか。</p>
--	---



〈資料1〉

Google Jamboard の活用例（生徒作成）。資料集にある資料の小見出しから江戸幕府が行った政策を抜き出し、誰に対する政策かを班で分類させ、小見出しを付けさせる。この小見出しを基に、生徒とのやり取りを通して、「大名」「百姓」「諸外国」という選択肢を導き出す。また、ここで作成したシートを各単位時間の導入で活用していく。

8 第2時の展開

(1) ねらい

親藩や譜代大名、外様大名の配置についての資料を読み取り、考察する活動を通して、江戸幕府が行った大名統制の方法について理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○大名に対する政策について学習することを確認する。 ・大名に対する政策をまとめよう。	○前時で作成した学習計画を想起させることで、本時の学習に方向性をもてるようにする。
	<p>[本時のめあて]</p> <p>安定した世の中にするために、幕府は大名に対してどのような政策を行ったのか。</p>	
	○学習の見通しをもつ。 ・武家諸法度や大名配置などを調べていこう。	○「つかむ」過程で作成した政策分類シートを提示することで、主体的に学習に取り組めるようにする。
展開 35分	2 大名支配についての政策を理解する。 ○基本用語を理解する。 ・親藩、譜代大名、外様大名の違いが分かった。 など ○大名配置について資料を読み取る。 ・外様大名は江戸から遠いところに配置されている。 ○配置理由について班で考察する。 ・外様大名を遠くに配置したのは、信頼できないからだ。 ○武家諸法度について理解する。 ・参勤交代はお金を軍事費として使わないようにするためだ。	○基本用語は Google スライドを活用することで、短い時間で確認する。 ○資料活用能力を高められるように、資料の読み取りとそこから考えられることを明確に分けさせる。 ●大名配置についての資料が読み取れない生徒には、江戸との距離に着目できるように声掛けを行う。 ◇江戸との距離に着目して資料を読み取り、徳川幕府の大名統制について理解している。 <プリント、発言(知技)> ○参勤交代については、薩摩藩の参勤交代を具体的に紹介し、遠ければ遠いほど大変なことに気付けるようにし、大名配置との関連にも言及する。 ◎大名支配の政策であることを確認した上で、経済面や交通網の整備などに触れることで、大名に対する政策が多方面において影響があったことに気付けるようにする。 ◎「これらの政策を行っていなかったらどうなっていたか」と問い掛けることで、大名支配の重要性に気付けるようにする。
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「学習後の判断」を当初の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由を明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。 ◎「○○の資料から、◇◇と考えたので△△と判断した」という書き方の定型文を紹介することで、判断の理由を書けるようにする。 ◇大名の統制方法に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 <課題解決シート、発言(思判表)>
	<p>[本時のまとめ]</p> <p>外様大名を江戸から遠いところに配置したり、武家諸法度によって大名を統制したりした。</p>	

(4) 板書計画

〈常設スクリーン〉

①基本用語の確認

②参勤交代の Google スライド

③本時のまとめ

めあて 安定した世の中にするために、幕府は大名に対してどのような政策を行ったのか。

〈資料の読み取り〉

江戸の周りに親藩、譜代大名を配置し、江戸から遠い所に外様大名を置いた。

なぜ？

外様大名は関ヶ原の戦いの後に家来になったため、信頼できないから。

武家諸法度…大名を統制するための法律

参勤交代

禁中並公家中諸法度

9 第3時の展開

(1) ねらい

村の自治や五人組の制度について考察する活動を通して、江戸幕府が行った百姓統制の方法について理解するとともに、農村が幕府や藩の経済を支えていたことに気付くことができるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

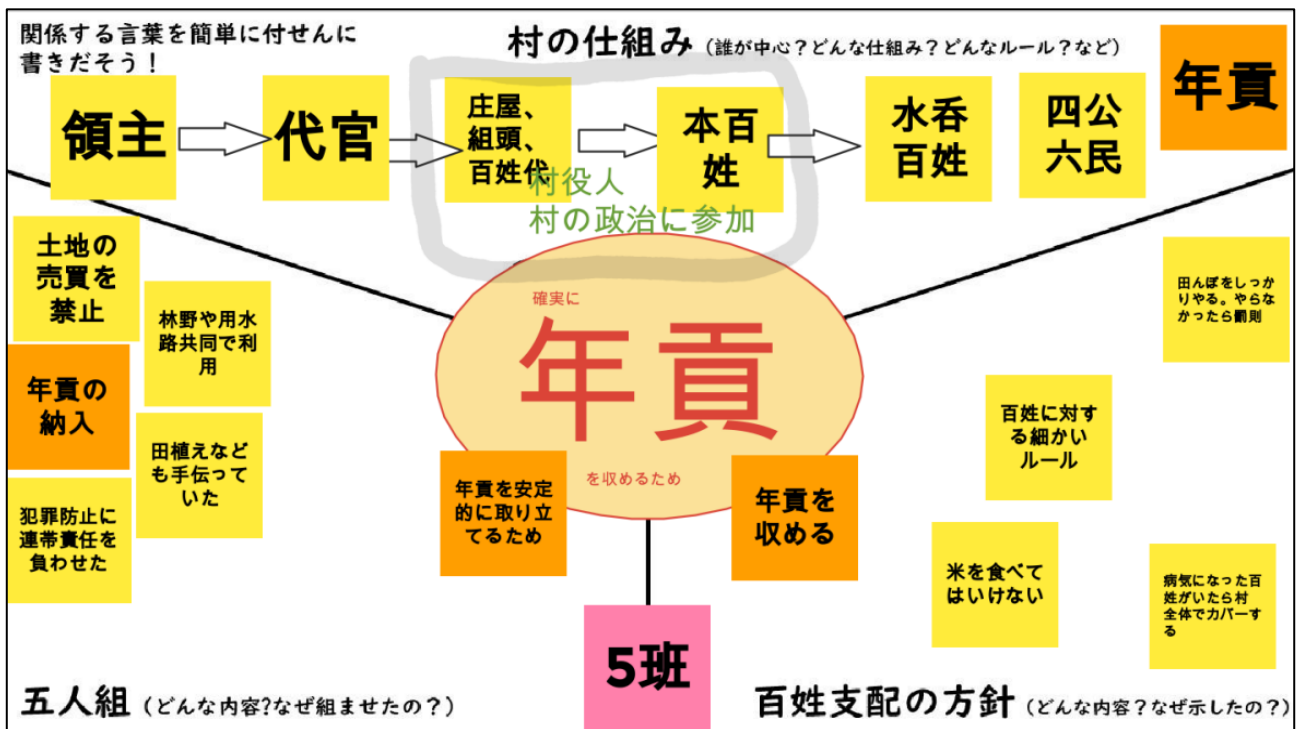
(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○百姓に対する政策について学習することを確認する。 ・今日は百姓に対する政策についてまとめる。 ○身分別の人口の割合を確認する。 ・百姓は総人口の85%を占める。この支配の仕方は重要だ。	○単元の「つかむ」過程で作成した学習計画を想起させることで、本時の学習に方向性をもてるようにする。 ◎単元のめあてに対して、「大名」と判断する生徒が多いことが想定されるため、身分別の人口割合の資料を提示し、生徒の考えを揺さぶる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>[本時のめあて] 安定した世の中にするために、幕府は百姓に対してどのような政策を行ったのか。</p> </div>	
	○学習の見通しをもつ。 ・五人組などを調べていこう。	○「つかむ」過程で作成した政策分類シートを提示することで、主体的に学習に取り組めるようにする。
展開 35分	2 百姓支配についての政策を理解する。 ○百姓の支配方法について班で調べる。 [☆] ・村役人が自治の中心。 ・村ごとに年貢を納める。 ・五人組は連帯責任。 ・百姓支配の方針には、百姓の生活が細かく規定されていた。 など ○百姓に対する幕府の政策について、班で共通点を考察する。 年貢を確実に集めるために、村の自治を認めたり、五人組を組ませたり、百姓支配の方針を作ったのではないか。 ○えた身分・ひにん身分について理解する。 ○武士と町人の生活について理解する。	○「村の自治」「五人組」「百姓支配の方針」という視点にそって班で調べさせる。Google Jamboard の付箋に短い言葉でまとめさせることで、支配の特徴に気付けるようにする。 ○「そのような支配を行った目的は何か」と問い掛け、三つの視点に共通する目的を考察できるようにする。まずは個人で考察させた後に、班で考察させる。 ●書き出せない生徒には、Google Jamboard に示されている共通する語句に着目させたり、百姓は何をつくっているのかと声掛けしたりすることで、年貢の存在に気付けるようにする。 ◇村の運営方法や五人組の仕組みに着目して、江戸幕府が行った百姓の統制方法について理解している。 <プリント、発言(知技)> ○「百姓の不満を解消するためにはどうすればよいか」と問い掛けることで、差別された人々の存在に気付けるようにする。 ◎百姓に対する政策であることを確認した上で、武士の俸禄に着目させ、「この米はどこから来たの」と問い掛けたり、「町人は米をどうするのか」と問い掛けたりすることで、百姓に対する政策が多方面において影響があったことに気付けるようにする。 ◎「これらの政策を行っていなかったらどうなっていたか」と問い掛けることで、百姓支配の重要性に気付けるようにする。
まとめ	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由をきちんと明

10分	<p>【本時のまとめ】</p> <p>村の自治を認めたり、五人組によって連帯責任を負わせたりすることで、年貢を確実に集めたり、犯罪を防止したりした。</p>	<p>記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。</p> <p>◎学習内容に流されて判断を変更してしまうことがないように、前時の自分の考えと、今回学習したことから考えたことを比較して、どちらが重要かを判断するように声掛けをする。</p> <p>◇百姓の統制方法に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
-----	---	--

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①班別の Google Jamboard</p> <p>②本時のまとめ</p>	<p>めあて 安定した世の中にするために、幕府は百姓に対してどのような政策を行ったのか。</p> <p>〈主な政策〉</p> <p>村の自治、五人組、百姓支配の方針</p> <p>なぜ？ 年貢を確実に納めさせるため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えた身分・ひにん身分…差別された人々。 ・武士…主君から俸禄（米）を与えられる。 ・町人…営業税を納める。
---	---



〈資料2〉

Google Jamboard の活用例（生徒作成）。生徒がまとめた政策分類シートを基に、「村の仕組み」「五人組」「百姓支配の方針」という視点にそって班で調べさせる。付箋への入力文字数が限られているため、キーワードで出されてくる。ここでは、多くの班が「年貢」というキーワードを捉えることができた。そして「そのような政策を行った目的は何か」と問い掛け、中央部分に入力させた。そのような段階を踏むことで、江戸幕府が百姓支配に力を入れたねらいが見えてくる。

10 第4時の展開

(1) ねらい

朱印船貿易と鎖国の目的を考察する活動を通して、外交政策には、海外情報の統制、大名の統制など様々な目的があったことを理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○外交政策について学習することを確認する。 ・今日は外交政策についてまとめる。	○単元の「つかむ」過程で作成した学習計画を想起させることで、本時の学習に方向性をもてるようにする。 ○「江戸幕府が始まったらすぐに鎖国になったのか」と問い掛けることで、詳しく理解していないことに気付けるようにし、学習の動機付けを行う。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時のめあて] 安定した世の中にするために、幕府はどのような外交政策を行ったのか。</p> </div>	
	○学習の見通しをもつ。 ・鎖国などを調べていこう。	○「つかむ」過程で作成した政策分類シートを提示することで、主体的に学習に取り組めるようにする。
展開 35分	2 外交政策について理解する。 ○朱印船貿易と日本町について理解する。 [☆] ・朱印状をもらうことで、東南アジアと貿易ができる。 ・季節風を使って渡航していた。 ○朱印船貿易のメリットについて、班で考察する。 [☆] ・幕府と大名の上下関係をつくることができる。諸外国に対して日本のリーダーをアピールできる。貿易を統制できる など ○鎖国までの過程を理解する。 ○鎖国を行った理由を考察する。 ・キリスト教の考え方の排除し、幕府の指示に従わせるため。大名に外国と貿易させないため。 ○鎖国の対策について理解する。 ・絵踏、宗門改。	○Google スライドでまとめた朱印船貿易の仕組みを見せることで、関係性を視覚的に捉えられるようにする。 ○朱印船貿易の関係性について、代表生徒が「幕府」「西国大名」「東南アジアの王様」のロールプレイを行った後、演じた生徒の感想を基に、GoogleJamboardを活用して江戸幕府のメリットについて考察させる。 ○Google スライドを活用して鎖国への歩みを全体で確認する。 ●鎖国を行った理由を書くことができない生徒には、「キリスト教徒は幕府の命令とキリスト教の教えのどちらを支持すると思うか」と問い掛けることで、鎖国を行わないと、人々の統制ができなくなることを気付けるようにする。 ◇朱印船貿易の仕組みや鎖国の経緯に着目して、江戸幕府の外交政策について理解している。 <プリント、発言(知技)> ◎「これらの政策を行っていなかったらどうなっていたか」と問い掛けることで、外交政策の重要性や大名統制の側面があったことに気付けるようにする。
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[本時のまとめ] 朱印船貿易によって、幕府の立場を明確にし、鎖国によって、キリスト教の教えを排除したり、大名が経済力をつけることを防いだりした。</p> </div>	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由をきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。 ◎学習内容に流されて判断を変更してしまうことがないように、前時の自分の考えと、今回学習したことから考えたことを比較して、どちらが重要かを判断するように声掛けをする。

		◇外交政策に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉
--	--	--

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①朱印船貿易の Google スライド</p> <p>②各班の Google Jamboard</p> <p>③鎖国の Google スライド</p> <p>④本時のまとめ</p>	<p>めあて 安定した世の中にするために、幕府はどのような外交政策を行ったのか。</p> <p>〈朱印船貿易の仕組み〉※江戸時代初期</p> <p>なぜそのような仕組みにしたのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府と大名と上下関係の明確化。 ・諸外国に日本のリーダーであることを示した。 ・貿易を仕切り、利益を得た。 <p>〈鎖国の目的〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の考え方の排除（幕府の指示に従わせる） ・貿易統制（大名に外国と貿易させない）
--	---

1つ目	2つ目	3つ目
貿易の 利益が 入る	西国大名と の立場の違 いを示すこ とができる	幕府側にリ スクがあま りない
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #FF69B4; color: white; padding: 5px 10px; font-weight: bold;">6班</div> <div style="font-size: 20px; font-weight: bold;">※付せんを大きくして記入しよう。</div> </div>		

〈資料3〉

Google Jamboard の活用例（生徒作成）。ロールプレイの感想を参考にしながら、朱印船貿易のメリットを班で考察させる。一つだけだと、貿易の利益のみになりやすいので、三つを考えることで、様々な視点からメリットを考察させる。

11 第5時の展開

(1) ねらい

四つの窓口についてまとめて、考察する活動を通して、統制の中でも交易や交流があったことを理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○鎖国中の貿易について学習することを確認する。 ・鎖国中でも出島で貿易をしていた。	○単元の「つかむ」過程で作成した学習計画を想起させることで、本時の学習に方向性をもてるようにする。
	<p>[本時のめあて] 安定した世の中にするために、幕府は限られた外国とのつながりをどのように利用したのか。</p>	
	○学習の見通しをもつ。 ・出島のほかにもつながりがあったからそのあたりを調べていこう。	○「つかむ」過程で作成した政策分類シートを提示することで、主体的に学習に取り組めるようにする。
展開 35分	2 対外関係について理解する。 ○出島と唐人屋敷について整理する。 [☆] ・違いと共通点が分かった。 ○朝鮮、琉球王国との関わりについて理解する。 ・朝鮮通信使や琉球使節は、参勤交代に似ていて、当時の庶民は徳川の支配が外国まで及んでいると考えただろう。 ○アイヌ民族との交易について理解する。 ・アイヌ民族にとって不公平な交易を行っていた。	○出島と唐人屋敷については Google スライドで確認することで、簡潔に理解できるようにする。 ○Google Jamboard を活用して、朝鮮通信使や琉球使節の絵と参勤交代の絵を比較することで、外交政策が大名や庶民の統制につながっていることに気付けるようにする。 ●朝鮮通信使や琉球使節の絵と、参勤交代の絵から、大名統制や庶民の統制に気付かない生徒には、参勤交代を例に出し「大名行列をして江戸に向かうということは、幕府と大名ではどちらの立場が上なのか」と問い掛け、徳川の意図に気付けるようにする。 ◇四つの窓口の場所や貿易相手など着目して、江戸幕府の外交関係について理解している。 <プリント、発言(知技)> ◎これらの政策を行っていなかったらどうなっていたか」と問い掛けることで、外交政策の重要性や大名統制の側面があったことに気付けるようにする。
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆] [本時のまとめ] 貿易の利益や海外情報を独占したり、江戸幕府の支配が外国まで及んでいるかのように見せつけたりした。	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由をきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。 ◎学習内容に流されて判断を変更してしまうことがないように、前時の自分の考えと、今回学習したことから考えたことを比較して、どちらが重要かを判断するように声掛けをする。 ◇外交関係に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 <課題解決シート、発言(思判表)>

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①出島と唐人屋敷のまとめ (Google スライド)</p> <p>②班別の Google Jamboard</p> <p>③本時のまとめ</p>	<p>めあて 安定した世の中にするために、幕府は限られた外国とのつながりをどのように利用したのか。</p> <p>長崎（出島）・・・オランダと貿易 <small>目的）貿易の独占、海外情報の独占</small></p> <p>（唐人屋敷）・・・中国（清）と貿易 <small>（大名には伝わらない）</small></p> <p>対馬藩・・・朝鮮と貿易 <small>・ 将軍がかわるごとに 朝鮮通信使を派遣させる 目的）徳川の支配が外国まで及んで いるかのように見せる</small></p> <p>薩摩藩・・・琉球王国と貿易 <small>・ 琉球使節を将軍に面会させる ・ 中継ぎ貿易の独占</small></p> <p>松前藩・・・アイヌ民族→不公平な取引を行う シヤクシャインの戦い</p>
---	---

 <p>大名行列</p>	 <p>朝鮮通信使</p>	 <p>琉球使節</p>
<p>①大名行列と朝鮮通信使、琉球使節を比べてどう感じましたか？ ②江戸幕府のねらいを考えてみよう。</p>		
<p>みんな似てる</p>	<p>偉い人がいる</p>	<p>列になって移動している</p>
<p>1班</p>	<p>朝鮮や琉球も江戸幕府にしたがっていると思わせたかったから</p>	

〈資料4〉

Google Jamboard の活用例（見本）。三枚の絵を並べることで、似ていることに気付かせ、「なぜ参勤交代と似させているのか」と発問することで、江戸幕府が朝鮮通信使や琉球使節を遣わせたねらいにせまる。また、改めて参勤交代について振り返ることから知識の定着にもつながる。

12 第6時の展開

(1) ねらい

現時点における自分の考えと他者の考えとの交流を通して、新たな気づきや、異なる立場の意見を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを表現できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○単元の課題について最終的に自分の考えをまとめることを確認する。	
	<p>[本時のめあて] 友達との意見交流を踏まえて、自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。</p>	
展開 35分	2 自分の考えをまとめる。 ○これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ・この政策から、こう考えたので、□ □に対する政策を重視すべきだと説明しよう。 ○自分の考えを班で交流する。 [☆] ・判断は一緒だが、根拠が異なる。 ・判断は異なるが、確かにそれも言える。 ○最終的な自分の考えを、タブレット端末を用いてまとめる。 [☆]	◎自分の考えをまとめる場面では、これまでの自分の判断とその理由を振り返り、相手が納得いくような説明ができるように考えを整理するよう声掛けする。 ◎意見交流に際して、ディベートではないため、傾聴を心がけることを伝え、多面的・多角的な見方・考え方が広がるように、自分と異なる考えや立場に触れたときには、質問してもよいことを伝える。 ○全体として極端に判断が偏る場合は、同じ判断で集まって共有した後、少数派の考えを全体で共有する。 ○全体としては、判断は偏っていないが、班では全員同じ判断の場合は、班のメンバーを入れ替え、交流が深まるようにする。 ◎最終的な自分の考えをまとめる場面では、誰と判断したかより、判断した根拠をきちんと示すことが重要であることを伝える。 ●根拠が明確になっていない生徒には、「一番そう思ったのはどの授業だったか」と問い掛け、根拠を焦点化できるようにする。 ◇多面的・多角的に単元のめあてについて考察し、自分の考えを表現している。 <課題解決シート、発言(思判表)> [記]
	<p><予想される生徒の考えの例></p> <p>(大名) 外様大名を遠くに配置することと参勤交代との関連は絶妙で、この政策がなかったら、江戸幕府はすぐに攻められていたと思う。百姓に関しては、大名に攻められてしまったらどんなに百姓を抑えていても意味がないし、外交に関しても、武士を統制できていたら、もし諸外国が侵入してきても立ち向かうことはできるので、やはり大名に対する政策が一番重要だと考えた。</p> <p>(百姓) 百姓が米を作らなかつたら、武士も町人も生活できないので、百姓は重要。その百姓に対して自治を任せることで年貢を納める責任をもたせたり、五人組を組ませることで確実に年貢を納めさせたりすることは大切なので、百姓に年貢を納めさせる政策が一番重要だと考えた。大名に関しては、統制しないと攻められるという意見もあるが、俸禄がもらえれば不満はたまらないと思う。だから俸禄となる米を生産している百姓を重視すべきだと思った。</p> <p>(諸外国) 外交を統制することで、幕府は情報を独占できるし、上手に活用することで、百姓と大名も統制することができる。何より、外交政策を行わないと、国内をどんなに上手にまとめても、簡単に攻められてしまうので、諸外国に対する政策が一番重要だと考えた。</p>	

<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>3 本時の学習を振り返る。</p> <p>○「次単元に向けて」「単元の振り返り」をまとめる。[☆]</p>	<p>◎Google スプレッドシートに全員の考えを集約し、共有する時間を設定することで、単元の課題に対する考えを深められるようにする。</p> <p>○「次単元に向けて」（学習を踏まえて、こうすればもっと安定した幕府になるのでは？と思うアイデアを書きましょう）は、自由に書いていいことを伝え、単元間のつながりをもてるようにする。</p> <p>◎「単元の振り返り」は、予想と比較するよう声掛けし、根拠が明確になっている生徒を称賛する。</p> <p>◇江戸幕府の成立と対外政策について、そこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとしている。 〈課題解決シート、発言（主体態）〉〔記〕</p>
<p>〈予想される生徒の「次単元に向けて」の記入例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大名を統制することは大切だが、それだけだと不満がたまると思うので、何かしらその不満を解消する政策があるといいと思った。 ・百姓に関しては、不作の時もあると思うので、そういうときにもうまく年貢を集められる工夫があるといいと思った。 ・幕府の考えの押しつけは不満がたまるので、人々の意見が自由に聞ける仕組みをつくれるといい。 <p>〈予想される生徒の「単元の振り返り」の記入例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の考えと比較すると、今の考えの方が説得力があって、最初のころは根拠もなくずいぶん適当な考えだったと思った。 ・毎時間の判断には悩んだ。学習をすると確かに安定した世の中にするために、その政策は重要だと思うのだが、でも前の時間に学んだ政策も重要だと思うので、どれが一番というのは付けづらかった。結局はいろいろな政策が関連し合うことで安定した世の中になっていったんだろうなと思った。 ・友達と最後に意見交流したが、確かにそういう見方があるなと思った。自分の考えも大切だと思うが、友達の意見も大切だった。 ・安定した世の中になるために、江戸幕府は様々な政策を打ち出していったが、結局減ってしまった。なぜこれらの政策が失敗したのだろうか。減んだ理由が知りたい。 		

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①まとめや振り返りの紹介</p>	<p>めあて 友達との意見交流を踏まえて、自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。</p> <p>私は〇〇が一番重要だと考えました。なぜなら～。</p>
--------------------------------------	--

1 単元名 近世の日本「産業の発達と幕府政治の動き」

2 単元観

本単元は、中学校学習指導要領〔歴史的分野〕の中項目「（3）近世の日本」の「（ウ）産業の発達と町人文化」「（エ）幕府の政治の展開」に関連する部分である。ここでは、大きく三つのねらいがある。一つ目は、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解することである。二つ目は、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解することである。三つ目は、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化や幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することである。また、幕府の政治改革については、「農村の変化」や「商業の発達」などへの対応という観点から代表的な事例を取り上げるとしている。

そこで本単元では、①農業や諸産業の発達、②都市の繁栄と交通路の整備、③幕府政治の安定と元禄文化④享保の改革と社会の変化、⑤田沼意次の政治と寛政の改革、⑥新しい学問と化政文化、⑦外国船の出現と天保文化を主に学習する。①では、新田開発から貨幣経済の浸透までを考察する活動を通して、農業の発達による社会の変化について理解できるようにする。②では、幕府、大名、百姓、商人の視点から交通路整備の利点を考察する活動を通して、多面的・多角的に交通路整備の影響を理解できるようにする。③では、徳川綱吉の政治の背景を考察する活動を通して、徳川綱吉の政治の特色を理解できるようにする。④では、徳川吉宗の政策の目的を考察する活動を通して、徳川吉宗の経済政策の特色を理解できるようにする。⑤では、田沼意次と松平定信の政策を比較する活動を通して、様々な財政政策によって幕府政治の立て直しを図ろうとしたことを理解できるようにする。⑥では、東海道中膝栗毛が人気を集めた理由を考察する活動を通して、化政文化の特色を理解できるようにする。⑦では、天保の改革で行われた背景や政策の結果を考察する活動を通して、幕府政治が行き詰まっていったことを理解できるようにする。

これらの学習では、班で政策を分類したり、目的を考察したりする活動が多いため、ICTを活用することで、考えを整理したり、深めたりすることが行いやすくなる。また、単元の「つかむ」過程で、①②の学習から、「農村の変化」や「商業の発達」への対応という視点を導き出し、諸改革の財政政策に着目させることで、「財政難を乗り越えるための経済政策で、あなたが一番支持できる政治家（綱吉、吉宗、意次、定信、忠邦）はだれか。」という単元の課題が設定できる。このような単元の課題は、意思決定を伴うため、自分の考えがもちやすい。そして、単位時間ごとに学習内容を踏まえて判断していくため、考えを深めることができ、学習が進むにつれて、更に自分の考えが深まっていくことから学習の達成感も得ることができる。これらのことが本単元を学習することの意義であると考えられる。

3 指導方針

- ・単元の「つかむ」過程で、現時点の経験や既習事項踏まえて、自分なりの判断ができるように、「賛成か反対か」、「どれが一番よいと考えるか」といった意思決定を伴う「単元の課題」を設定する。そのような課題を設定することを通して、自分なりの考えをもたせる。
- ・単元の「追究する」過程の振り返りの場面で、単位時間ごとに単元の課題に対する自分の考えを、単位時間の学習を踏まえてもう一度見直し、判断を変更したり、判断の理由を深めたりする活動を取り入れる。そのような活動を単位時間ごとに繰り返すことで、生徒の考えを深めさせていく。
- ・単元の「まとめる」過程で、生徒同士で考えを交流する活動を取り入れる。これまで、単位時間ごとに自分の考えを再検討してきたため、生徒は自分の考えに自信をもつことができている。交流する場面では、様々な意見があること、どれも間違いではないことを伝え、自信をもって発表させる。

また、交流を踏まえて、自分の考えを再検討させることで、考えを更に深めさせていく。

- ・単元の「まとめる」過程で、「つかむ」過程における自分の考えと、学習を終えた際の自分の考えを比較する活動を通して、自分の考えの深まりに気付かせ、学習に対する充実感を得させる。
- ・全体を通して、ICTを活用し、学習の効率化を図ったり、思考する活動を有意義なものにしたりする。

4 単元の目標

(1) 知識及び技能

- ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。
- ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

- ・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

- ・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。

5 単元の評価規準

(1) 知識・技能

- ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。
- ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。

(2) 思考・判断・表現

- ・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

6 指導と評価の計画（全9時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 [☆] : ICT活用	重点	◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ●新田開発から貨幣経済の浸透までを考察する活動を通して、農業の発達による社会の変化について理解できるようにする。 ○新田開発から貨幣経済の浸透までの流れについて班で考察する。 [☆] ○農村の変化について考察する。 [☆] ○諸産業の発展について教科書で調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて] 安定した世の中になり、江戸幕府や藩が新田開発に力を入れたことで、農村にはどのような変化があったか。</p> </div>	知	◇道具の工夫や商品作物の登場と関連付けながら、農業の発達や社会の変化について理解している。 〈プリント、発言(知技)〉

	<p>2 ●幕府、大名、百姓、商人の視点から交通路整備の利点を考察する活動を通して、多面的・多角的に交通路整備の影響を捉えられるようにする。</p> <p>○街道と航路について理解する。[☆] ○五街道の利点を考察する。[☆] ○三都について理解する。[☆] ○元禄文化についてまとめる[☆]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめて]</p> <p>安定した世の中になり、交通路が整備されたことで、どのような変化が起こったか。</p> </div>	知	<p>◇交通路整備の利点に着目して、商業を中心として経済が発展したことを理解している。</p> <p>〈プリント、発言（知技）〉</p>
	<p>3 ●既習事項を基に、単元の課題を立てる活動を通して、幕府政治の動きを追究する意欲をもてるようにする。</p> <p>○これまでの学習を振り返る。[☆] ○改革の背景を調べ、整理する。[☆] ○単元の課題をつかむ。 ○自分の考えをもつ。[☆]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>これまでの学習を振り返り、単元の課題を立てよう。</p> </div>	態	<p>◇単元のめあてに対する自分の考えをもち、これからの追究活動に対する意欲をもっている。</p> <p>〈課題解決シート、発言（主体態）〉 [記]</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[単元の課題]</p> <p>財政難を乗り越えるための経済政策で、あなたが一番支持できる政治家（綱吉、吉宗、意次、定信、忠邦）はだれですか。</p> </div>			
追究する	<p>4 ●徳川綱吉の政治の背景を考察する活動を通して、徳川綱吉の政治の特色を理解できるようにする。</p> <p>○政策を打ち出した理由をまとめ、その背景を考察する。[☆] ○新井白石の政治について理解する。 ○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する[☆]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>財政難を乗り越えるために、徳川綱吉はどのような政治を行ったのか。</p> </div>	知	<p>◇政策が実施された背景に着目して、徳川綱吉の政治について理解している。</p> <p>〈プリント、発言（知技）〉 ◇徳川綱吉の政治の特色に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
	<p>5 ●徳川吉宗の政策の目的を考察する活動を通して、徳川吉宗の経済政策の特色を理解できるようにする。</p> <p>○吉宗の政策の目的を考察する。[☆] ○農村と工業の変化について理解する。[☆] ○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する[☆]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>財政難を乗り越えるために、徳川吉宗はどのような政治を行ったのか。</p> </div>	知	<p>◇享保の改革の経済政策に着目して、徳川吉宗の政治について理解している。</p> <p>〈プリント、発言（知技）〉 ◇徳川吉宗の政治の特色に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>

6	<p>●田沼意次と松平定信の政策を比較する活動を通して、様々な財政政策によって幕府政治の立て直しを図ろうとしたことを理解できるようにする。</p> <p>○それぞれの政策と目的を分類する。 [☆]</p> <p>○それぞれの政策の特色を理解する。 [☆]</p> <p>○それぞれの政策の結果を理解する。 [☆]</p> <p>○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する [☆]</p> <div data-bbox="293 465 949 618" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>財政難を乗り越えるために、田沼意次や松平定信はどのような政治を行ったのか。</p> </div>	知	<p>◇田沼意次と松平定信の政策の違いに着目して、それぞれの政治の目的を理解している。</p> <p>〈プリント、発言（知技）〉</p> <p>◇田沼意次と松平定信の政策に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
7	<p>●東海道中膝栗毛が人気を集めた理由を考察する活動を通して、化政文化の特色を理解できるようにする。</p> <p>○当時の状況を踏まえて、国学と蘭学について理解する。 [☆]</p> <p>○『東海道中膝栗毛』の人気について考察する。 [☆]</p> <p>○化政文化に調べる。 [☆]</p> <p>○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する [☆]</p> <div data-bbox="293 1016 949 1169" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>社会が変化していく中で、江戸中期から後期にかけて、どのような文化が生まれたのか。</p> </div>	知	<p>◇当時の社会状況に着目して、化政文化の特色を理解している。</p> <p>〈プリント、発言（知技）〉</p> <p>◇貨幣経済の浸透により庶民が力を付けてきたことに着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
8	<p>●天保の改革で行われた背景や政策の結果を考察する活動を通して、幕府政治が行き詰まっていったことを理解できるようにする。</p> <p>○国際的な背景と国内の背景を読み取る。 [☆]</p> <p>○政策と目的について理解する。 [☆]</p> <p>○雄藩の改革を理解する。</p> <p>○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する [☆]</p> <div data-bbox="293 1514 949 1666" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて]</p> <p>財政難を乗り越えるために、水野忠邦はどのような政治を行ったのか。</p> </div>	知	<p>◇大名や庶民の気持ちに着目して、天保の改革が行き詰まった理由を理解している。〈プリント、発言（知技）〉</p> <p>◇水野忠邦の政策に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>

<p>ま と め る</p>	<p>●現時点における自分の考えと他者の考えとの交流を通して、新たな気付きや、異なる立場の意見を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>○自分の考えを班でと交流する。〔☆〕 ○交流を踏まえて自分の考えを再検討する。〔☆〕 ○友達のことを知る。〔☆〕 ○「これからの単元に向けて」「単元の振り返り」をまとめる。〔☆〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本時のめあて】 友達との意見交流を踏まえて、自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。</p> </div>	<p>思 態</p> <p>○多面的・多角的に単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉〔記〕</p> <p>○産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとしている。 〈課題解決シート、発言（主体態）〉〔記〕</p>
----------------------------	--	--

8 第1時の展開

(1) ねらい

新田開発から貨幣経済の浸透までを考察する活動を通して、農業の発達による社会の変化について理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

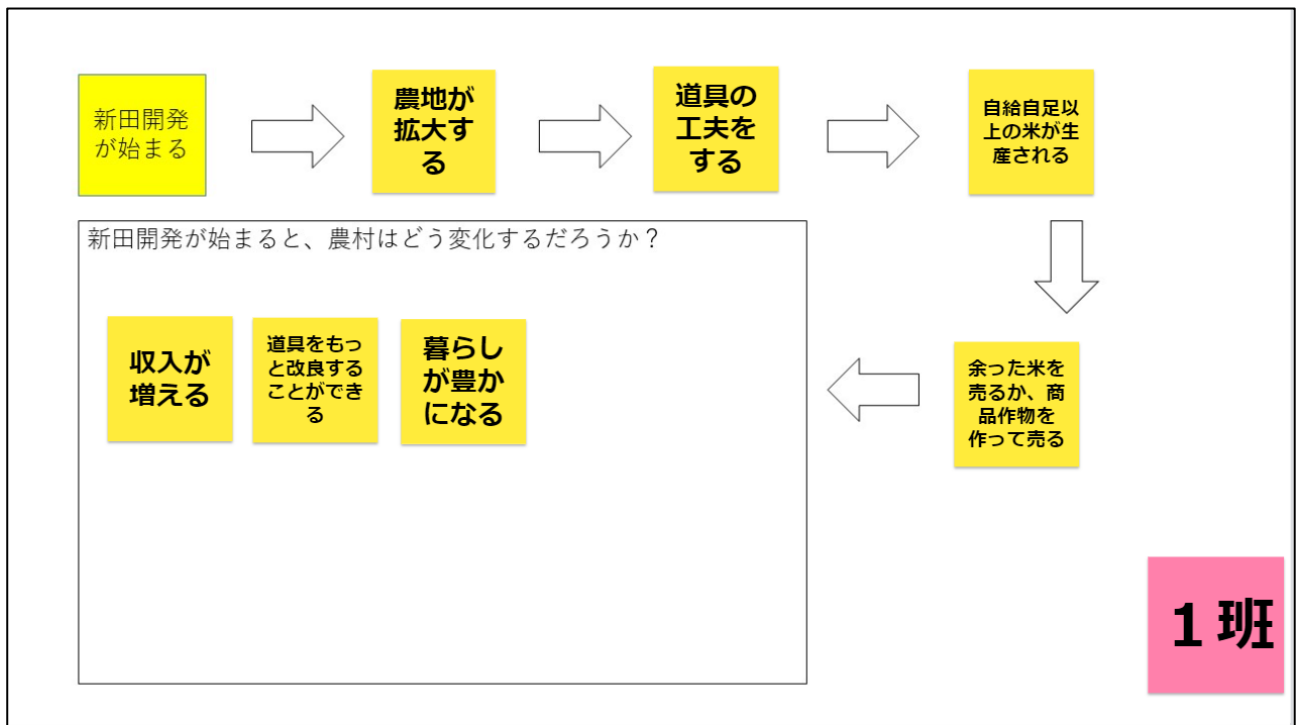
(3) 展開

<p>時 間</p>	<p>○学習活動 ・予想される生徒の反応 〔☆〕：ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞〔記〕：記録に残す評価</p>
<p>導 入 10 分</p>	<p>1 本時のめあてをつかむ。 ○全国の耕地面積と石高の移り変わりの資料を読み取る。〔☆〕 ・1720年ころの耕地面積が一番広い。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本時のめあて】 安定した世の中になり、江戸幕府や藩が新田開発に力を入れたことで、農村にはどのような変化が起こったか。</p> </div> <p>○予想を立てる。 ・農民が裕福になった。 ・年貢が増えた。</p>	<p>○前単元を振り返り、様々な政策を打ち出したことで安定した世の中になっていったことを確認する。 ○安定した世の中になったから、新田開発に力を入れることができたことを押さえておく。 ○デジタル教科書を活用し、視覚的に耕地面積が増加していることを押さえる。</p>
<p>展 開 33 分</p>	<p>2 新田開発による生活の変化を理解する。 ○新田開発から貨幣経済の浸透までの流れについて考察する。〔☆〕 ・新田開発が行われると、広い農地を耕すために農具の工夫が必要だ。 ・自給自足以上に米が作れるようになる。 ・米を売るか、商品作物を作るようになる。 ○農村の変化について考察する。〔☆〕 ・商品作物を売るため、お金が入ってくるのではないかと（貨幣経済の浸</p>	<p>○農村の変化が順を追って分かりやすいように、Google Jamboardに関連する内容を書いた付箋を用意しておき、新田開発が始まるとどうなっていくかを班で話し合いながら並べ替えられるようにする。 ○分からない用語は、用語集等で調べるよう声掛けをする。 ○並び替えの確認の際に、Google スライドを活用して農具の進化について補足説明を行う。 ○商品作物を作って売り始めると、農村がどう変化するかを班で考察させる。その際、貨幣経済の浸透など経済面に着目した班を称賛することで、新田開発によって経済が発展していったことに意識を向けられるようにする。 ●貨幣経済の浸透に気付かない生徒には、「商品作物を</p>

	透)。 ・貧富の差が生まれるのではないか。 ○諸産業の発達について教科書を基に調べる。 ・鉱山が開発された。 ・寛永通宝がつくられた。 ・干鰯に加工されて売られた。 ・貨幣経済の浸透により、産業同士が結び付き、発展していった。	売ると何が手に入るのか」「そのお金は何に使うのか」と問い掛け、もののやり取りから貨幣のやり取りが主流になっていく過程に気付けるようにする。 ◇道具の工夫や商品作物の登場と関連付けながら、農業の発達や社会の変化について理解している。 〈プリント、発言（知技）〉 ○「なぜ鉱山の開発が進んだのか」「干鰯に加工したのはなぜか」と問い掛け、貨幣経済の浸透と諸産業の関連に気付けるようにする。
ま と め 7 分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめと振り返りを行う。 【本時のまとめ】 安定した世の中になり、新田開発が進んだことで、農業が発達し、貨幣経済が農村にも浸透した。	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「農業の発達」「貨幣経済の浸透」は、単元の課題をつかむキーワードとなるため、意識を向けさせておく。

(4) 板書計画

〈常設スクリーン〉 ①農具の変化（各班の Google Jamboard） ②農具を比較（Google スライド） ③諸産業の発達（Google スライド）	めあて 安定した世の中になり、江戸幕府や藩が新田開発に力を入れたことで、農村にはどのような変化が起こったか。 新田開発→農業発達→貨幣経済の浸透（農村にも） 〈まとめ〉
---	--



〈資料1〉

Google Jamboard の活用例（生徒作成）。用意した四枚の付箋を「新田開発始まる」に続けて並び替える。班で話し合いながら並び替える活動を通して、新田開発から貨幣経済の浸透までの理解を深める。その後、農村がどう変化するかを、班で考察させる。本実践では、貨幣経済の浸透以外にも、貧富の差が生じてくるなど多様な意見が出された。

9 第2時の展開

(1) ねらい

幕府、大名、百姓、商人の視点から交通路整備の利点を考察する活動を通して、多面的・多角的に交通路整備の影響を捉えられるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 7分	1 本時のめあてをつかむ。 ○上毛カルタの「な」と「東海道新幹線」を確認し、共通点を考察する。 [☆] ・中山道しのぶ安中杉並木。 ・中山道と東海道ってどっちも道だ。	○前単元を振り返り、様々な政策を打ち出したことで安定した世の中になっていったことを再度確認し、安定した世の中になったから、交通路が整備され始めたことを押さえておく。
	<p>[本時のめあて]</p> <p>安定した世の中になり、交通路が整備されたことで、どのような変化が起こったか。</p>	
	○予想を立てる。 ・商業が発展した。 ・人の行き来が活発になった。	
展開 ① 25分	2 交通路の整備について理解する。 ○街道と航路について理解する。 [☆] ・五街道と三つの航路がある。 ○五街道の利点を考察する。 [☆] ・百姓は旅に行きやすくなった。 ・商人はお客がたくさん来てくれる。宿場町、都市が発達する。 ・武士(大名)は、参勤交代がやりやすい。 ・幕府は人、もの、情報の管理がやりやすい。 ○三都について理解する。 [☆] ・江戸「将軍のおひざもと」には大名屋敷がある。 ・大阪「天下の台所」には各藩の蔵屋敷があり、色々売りさばいている。 ・菱垣廻船で江戸の物資等を送っている。 ・京都は文化と学問の中心だ。	○デジタル教科書を活用することで、五街道と三つの海運について、視覚的に捉えられるようにする。 ○五街道の利点を考察する場面では、「百姓」「商人」「武士(大名)」「幕府」の四つの視点を提示し、Google Jamboard を活用して、五街道整備の利点を多面的・多角的に考察できるようにする。 ○三都について理解する場面では、デジタル教科書を活用して、江戸の町割りから、大名屋敷の存在に気付くようにするとともに、大阪の町割りと菱垣廻船の資料から、西廻り航路で集まった年貢や特産物を江戸に送っていたことに気付くようにする。 ○武士への俸禄が米であること、その他の物資は大阪で換金して手に入れていることに触れ、商業の発達や貨幣経済の浸透を意識付ける。 ●人が集まることと商業の発達が繋がらない生徒には、交通路の整備によって人が集まりやすくなったことを押さえた上で、「儲かっているお店のお客は多いか少ないか」と問い掛ける。 ◇交通路整備の利点に着目して、商業を中心として経済が発展したことを理解している。 <プリント、発言(知技)>
展開 ② 10分	3 元禄文化について理解する。 ○資料集で元禄文化についてまとめる。 [☆] ・関西出身者が多い。 ・町人に関する小説や絵を描いている。	○班で分担して元禄文化を Google スプレッドシートにまとめるようにする。また、調べる部分を特色がつかみやすい部分に限定することで、特色に気付くようにする。 ○知識の定着のため、Google スプレッドシートにまとめた元禄文化の内容についてのプリントを配布し、確認する。
まとめ	4 本時の学習を振り返る。 ○まとめと振り返りを行う。	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。

め 8 分	<p>【本時のまとめ】</p> <p>交通路を整備したことで、商業や三都が発展し、貨幣経済が更に進んだ。</p>	<p>◎「商業の発達」「貨幣経済の浸透」は、単元の課題をつかむ際のキーワードなるため、意識を向けさせておく。</p>
-------------	---	--

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①上毛カルタの「な」と東海道新幹線 (Google スライド)</p> <p>②街道と航路 (デジタル教科書)</p> <p>③五街道のメリット (各班の Google Jamboard)</p> <p>④三都の確認 (Google スライド)</p> <p>⑤元禄文化 (Google スプレッドシート)</p>	<p>めあて 安定した世の中になり、交通路が整備されたことで、どのような変化が起こったか。</p> <p>五街道・・・東海道、中山道、日光道中 甲州道中、奥州道中</p> <p>西廻り航路・・・大阪-東北間 東廻り航路・・・江戸-東北間</p> <p>南海路・・・江戸-大阪間 菱垣廻船、樽廻船</p> <p>※商業の発展、三都の繁栄→貨幣経済がすすむ</p> <p>元禄文化・・・上方（大阪・京都）を中心とした町人中心の文化</p> <p>〈まとめ〉</p>
---	---

<p>幕府にとって</p> <p>食へ物（年貢）に困らなくなる</p> <p>年貢を集めるのが早くなる</p>	<p>大名にとって</p> <p>年貢を集めるのが早くなる</p> <p>参勤交代でかかる時間が短くなる</p> <p>参勤交代中にかかる費用が安くなる</p>
<p>人が集まりやすいから儲かる</p> <p>売るものを運ぶのが楽</p> <p>商人にとって（宿場町、都市）</p>	<p>移動がしやすい</p> <p>安全にたくさんの方が運べる</p> <p>時間がかからない</p> <p>百姓（庶民）にとって</p>
<div style="background-color: #ff69b4; color: white; padding: 10px 20px; font-weight: bold; font-size: 24px;">4班</div>	

〈資料2〉

Google Jamboard の活用例（生徒作成）。四人班なので、四つの立場を分担して考察させ、付箋に記入させた。その後、班で自由に話し合わせ、付け足す時間を設けた。多面的・多角的な視点で捉えることで交通路の整備について理解を深めた。

資料集p.93 用語集pp.156-159			
名前	出身	代表作品	簡単な説明
井原西鶴	大阪	日本永代蔵	町人の生活や欲望など、ありのままの人間の姿を浮世草子と呼ばれる小説に書いた。
菱川師宣	千葉県	見返り美人図	町人の風俗や役者などを題材とする浮世絵を描いた。
尾形光琳	京都	紅白梅図屏風	大和絵の伝統を生かした新しい装飾画を描く
俵屋宗達	京都	風神雷神図屏風	豪華で大胆な構図の装飾画を描く
近松門左衛門	諸説あり	曾根崎心中	人形浄瑠璃の脚本を書き、人々の共感呼んだ。
松尾芭蕉	三重	奥の細道	俳諧を芸術性豊かな文学に高めた。
共通点を探しながら、元禄文化の特色をつかもう（出身地は？どんな内容？）			
<p>多くが関西出身。 町人の様子を書いている。</p>			

〈資料3〉

Google スプレッドシートの活用例（見本）。実際の授業では、時間が足らず、生徒と一緒に確認しながらまとめるだけになってしまったが、Google スプレッドシートを活用して、四人で分担して調べ学習を行う学習活動を用意しておいた。黄色の部分調べるところで、意図的に調べる箇所を設定した。生徒が調べる黄色い部分から共通点を見出していくと元禄文化の特色がつかめるようになっている。

10 第3時の展開

(1) ねらい

既習事項を基に、単元の課題を立てる活動を通して、幕府政治の動きを追究する意欲をもてるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 3分	1 本時のめあてをつかむ。 [本時のめあて] これまでの学習を振り返り、単元の課題を立てよう。	
展開 ① 20分	2 単元の課題をつかむ。 ○これまでの学習を振り返る。 [☆] ・前單元では、安定した世の中にするために、江戸幕府が様々な政策を打ち出したことを学んだ。 ・そしてそれを土台として、農業と商業が発展した。 ○江戸時代中期から後期にかけての予想を立てる。 ・江戸幕府の黄金期がくる。 ・もっと発展するなどはないか。 ○改革の背景を調べ、整理する。 [☆] ・享保の改革：貨幣経済の発達、財政難 ・田沼意次：年貢収入増えない、財政難 ・寛政の改革：幕府の権威衰退、不満 ・天保の改革：天災、飢饉、一揆の多発 ・主な背景は財政難、権威衰退、自然災害である。 ○財政難について考察する。 ・お金がないこと。 ・お米(年貢)がないこと。 ・どちらもないこと。	○Google スライドで前單元と前時までの振り返りを行い、幕府政治が安定したこと、それに伴って農業や商業が発展してきたことを確認する。 ○「農業や商業が発展してきた、この後、江戸時代はどのような時代になっていくだろうか」と問い掛け、その後、更に発展するのではないかという予想をもてるようにする。 ○教科書の年表を基に、改革が続くこと(享保の改革、寛政の改革、天保の改革)を押さえることで、更に発展していくという予想を覆させる。 ○「なぜ改革が行われたのか」と問い掛け、調べ学習の動機付けを行う。 ○Google Jamboard を活用しながら、資料集で改革が行われた背景を班で調べる。調べ学習を簡潔に行うため、小見出しで「○○の改革」となっている部分の表の「背景」をまとめるよう声掛けを行う。その際、三大改革の他に綱吉の政治と田沼の政治も調べるように声掛けを行う。 ○「共通する主な背景は何か」と問い掛け、財政難から改革が行われる場合が多いことに気付けるようにする。 ○「財政難とは何が足りないことなのか」と問い掛け、班で意見を集約する中で、米(年貢)不足、お金不足に意識を向けさせながら、単元の課題をつかめるようにする。
	[単元の課題] 財政難を乗り越えるための経済政策で、あなたが一番支持できる政治家(綱吉、吉宗、意次、定信、忠邦)はだれですか。	
展開 ② 22分	3 単元の課題に対する見通しをもつ。 ○改革の内容を整理する。 [☆] ○予想を立てる。 ・綱吉：貨幣を変えて財政難を乗り越えようと努力したのはすごい。 ・吉宗：米の値段を安定化させようとして努力したのはすごい。	○判断材料がないと考えをもつことができないため、それぞれの背景や政策を整理した表(政策整理表)を配布する。 ○それぞれの政策を比較しないと自分の考えをもつことが難しいため、資料集でいくつかの政策を調べる時間を確保する。 ○自分の考えがもてない生徒には、「これから学習していくことだから分からなくて当たり前」「なんとなく

	<ul style="list-style-type: none"> ・意次：株仲間や貿易の奨励で乗り越えようとした努力はすごい。 ・定信：ききんに備えて米を蓄えようとした努力はすごい。 ・忠邦：株仲間を解散させて物価の高騰を防ごうとした努力はすごい。 <p>○予想を発表する。 ○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綱吉の政治、享保の改革、田沼の政治、寛政の改革、天保の改革の政策を調べて、判断した理由を明確にしていこう。 	<p>これいいなと思った政策を打ち出した人でよい」ことを伝えて、判断しやすいようにする。</p> <p>○課題解決シートに自分の予想を入力する。その際、現時点での判断理由も簡単でよいので合わせて書くように声掛けをする。</p> <p>○結果や有名度に流されることが考えられるため、結果ではなく、財政難を乗り越えるための経済政策に注目することを伝える。</p> <p>●なかなか判断できない生徒には、「自分だったら、どの政策を打ち出すか」「共感できる政策を出した人は誰か」と声掛けすることで、判断しやすくする。</p> <p>○現時点の予想を発表させ、クラスで交流させる中で、自分の考えの根拠が不明確であることに気付けるようにする。</p> <p>○学習計画については、それぞれの改革を詳しく調べていくこと、その中でも経済政策（農業に対する政策と商業に関する政策）について考察していくことを確認する。</p>
まとめ 5分	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○「振り返り」を、タブレット端末を用いて入力する。[☆]</p>	<p>◇単元のめあてに対する自分の考えをもち、これからの追究活動に対する意欲をもっている。 〈課題解決シート、発言（主体態）〉 [記]</p>

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①これまでの学習の振り返り (Google スライド)</p> <p>②政策をまとめた Google スプレッドシート</p>	<p>めあて これまでの学習を振り返り、単元の課題を立てよう。</p> <p>〈単元の課題〉</p> <p>財政難を乗り越えるための経済政策で、あなたが一番支持できる政治家（綱吉、吉宗、意次、定信、忠邦）はだれか。</p>
---	--

中心人物	徳川綱吉 資92ページ	徳川吉宗 (享保の改革) 資94ページ	田沼意次 資96ページ	松平定信 (寛政の改革) 資97ページ	水野忠邦 (天保の改革) 資103ページ
改革の背景(黄)	災害の復興費用(明暦の大火など) 寺院の造営や復旧工事の実施 ↓ 大名からの献上品に対する返礼品 ↓ 財政が悪化	貨幣経済の発達 ↓ 幕府の支出が増加 ↓ 財政難になる	百姓一揆、打ちこわしの増加 ↓ 幕府の経済難	田沼意次の改革による幕府の権威の衰退・幕府への不満の高まり	天災・ききん・一揆の多発で社会の混乱が続く、幕府の権威がゆるいできていた
主な背景は何だろう？(緑)					
	復興・復旧	財政・経済の悪化	一揆	幕府への不満	1班

〈資料4〉

Google Jamboard の活用例 (生徒作成)。本単元は学習内容が広いため、小学校の既習事項や自身の経験のみで自分の考えがもつことができる単元の課題をつかむのは難しいと考えた。そのため、まず単元を大観する調べ学習を取り入れ、政治家に注目させた。調べ学習は、資料集にある改革をまとめた表を簡単に付箋にまとめるだけのもので、四人班で分担して調べさせた。次に学習指導要領に示されている「幕府政治の行き詰まり」の原因に着目させるため、改革の背景の共通点を見出させ、単元の課題をつかんだ。

	徳川綱吉の政治 (資料集92ページ)	徳川吉宗(享保の改革) (資料集94ページ)	田沼意次の政治 (資料集96ページ)	松平定信(寛政の改革) (資料集97ページ)	水野忠邦(天保の改革) (資料集103ページ)
背景	災害の復興費用(明暦の大火など) 寺院の造営や復旧工事の実施 大名からの献上品に対する返礼品 →財政が悪化	貨幣経済が発達する →幕府の支出が増加 →財政難になる	年貢収入が増えず、再び財政難 百姓一揆や打ちこわしの増加	幕府の権威の衰退 幕府への不満の高まり	天災・ききん・一揆の多発 幕府の権威が揺らいできた
経済政策 (財政難に対する政策)	貨幣の改鋳 新田開発 米の値段の安定を図る 質素・倹約の奨励	年貢の強化 上米の制 米の値段の安定を図る 質素・倹約の奨励	株仲間奨励 商人への課税 銅などの専売制の実施 長崎貿易の奨励 印旛沼の開拓 蝦夷地の開発	倹約令 出稼ぎを制限し農民を帰村 ききんに備え農村に倉を設置 商品作物の栽培を制限 旗本・御家人の借金帳消し	倹約令 人返し令 印旛沼の開発再開 株仲間解散令
その他の政策	動物の愛護(生類憐みの令) 朱子学の奨励 武断政治から文治政治への転換	公事方御定書 有能な人材の登用 目安箱の設置 町火消 実学の奨励 漢訳洋書の輸入制限を緩和		人足寄場の設置 昌平坂学問所の設置 ロシアとの交易拒否 蝦夷地調査	異国船打ち払い令をゆるめる 上知令

〈資料5〉

本単元的意思決定を伴う「単元の課題」は、小学校の既習事項のみでは意思決定が難しい。そのため、生徒が改革の背景を調べるために活用した資料集に掲載されている表を一覧にして配布した。単元の課題の内容によっては、このような支援も必要になってくると考える。また、この表(政策整理表)は次時以降導入で活用し、見通しをもたせる役割もある。

11 第4時の展開

(1) ねらい

徳川綱吉の政治の背景を考察する活動を通して、徳川綱吉の政治の特色を理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

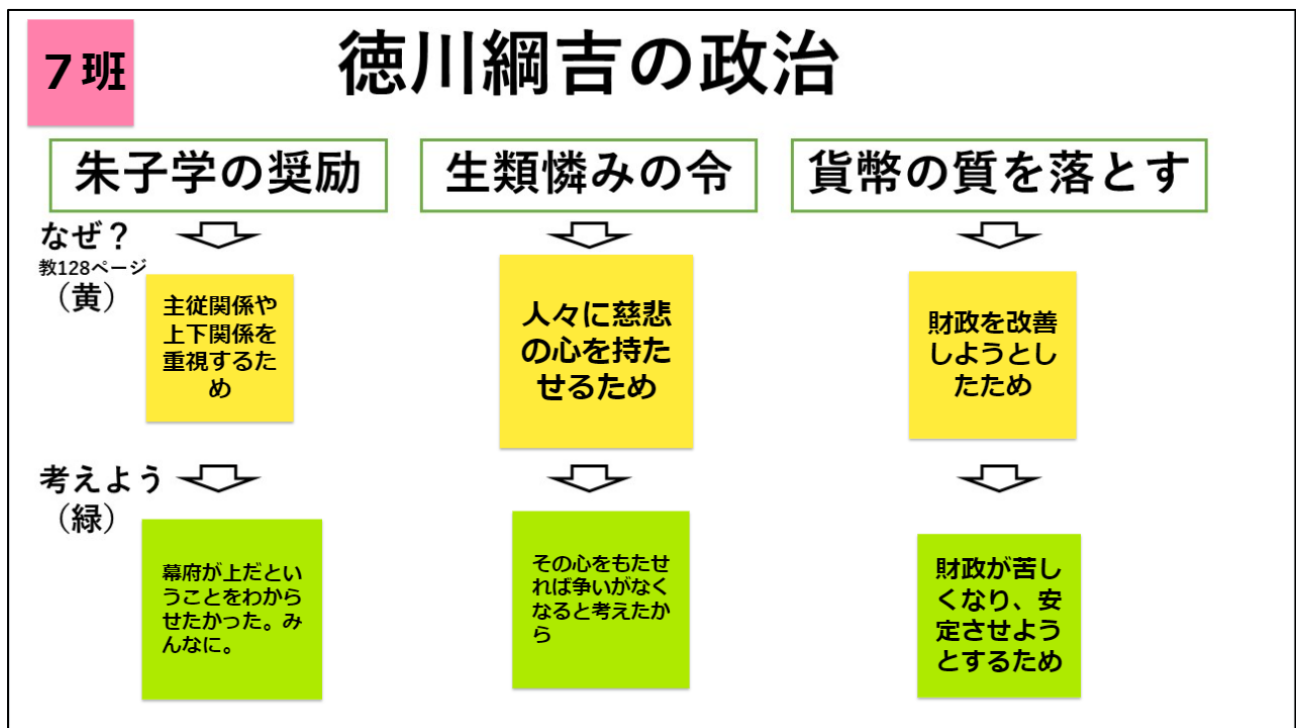
(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○「政策整理表」を確認する。 [☆] ・「朱子学の奨励」「生類憐みの令」「貨幣の質を落とす」を中心に学習していこう。	○「政策整理表」を活用することで、本時の学習について見通しをもてるようにする。
	<p>[本時のめあて]</p> <p>財政難を乗り越えるために、徳川綱吉はどのような政治を行ったのか。</p>	
展開 35分	2 徳川綱吉の政治を理解する。 ○政策を打ち出した理由をまとめ、その背景を考察する。 [☆] ・朱子学は主従関係を重視したかったから。徳川の安定政権を維持したかったのではないか。 ・生類憐みの令は、人々に慈悲の心を持たせるため。無駄な殺生をさせず、戦国時代の風潮を変えたかったからではないか。 ・貨幣の質を落としたのは、幕府の財政が苦しかったため。貨幣を増やしたかったからではないか。 ○新井白石の政治を理解する。 [☆] ・貨幣の質を戻した。 ・生類憐みの令を廃止した。 など	○「朱子学の奨励」「生類憐みの令」「貨幣の質を落とす」という政策を打ち出した理由について、教科書で調べ、さらにその背景を Google Jamboard を活用して考察させる。 ●背景について考察が難しい生徒には、関ヶ原の戦いから 80 年くらい経過していることを伝え、状況が変わってきていることに気付けるようにする。 ○「朱子学の奨励」については、武断政治から文治政治への移行や、武士の役割の変化に触れることで理解できるようにする。 ○「生類憐みの令」は Google スライドで具体例を紹介することで、関心をもてるようにする。 ○「貨幣の質を落とす」については、抽象的な話になりやすいので、具体例を示しながら補足説明し、貨幣経済が浸透してきたことへの対応であることを押さえる。 ○綱吉時代の武家諸法度を紹介することで、文治政治について理解できるようにする。 ◇政策が実施された背景に着目して、徳川綱吉の政治について理解している。 <プリント、発言(知技)> ○新井白石の政策については、Google スライドで確認することで、簡潔にまとめることができるようにする。
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。財政政策を共通の判断材料とすることから、背景と財政政策を中心にまとめる。 ◎「学習後の判断」を当初の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由を「判断を変えた理由」にきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。 ◇徳川綱吉の政治の特色に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 <課題解決シート、発言(思判表)>
	<p>[本時のまとめ]</p> <p>綱吉は財政を立て直すために貨幣の質を落としたが、かえって物価が上昇してしまった。また朱子学を取り入れ文治政治による政治の安定を目指した。</p>	

	○「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。[☆] ○振り返りを入力する。[☆]	
--	--	--

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①政策整理表 (Google スプレッドシート) ②綱吉の政策について (各班の Google Jamboard) ③補足説明など (Google スライド) ④「今日のまとめ」</p>	<p>めあて 財政難を乗り越えるために、徳川綱吉はどのような政治を行ったのか。</p> <p>〈綱吉の政治〉 朱子学の奨励・・・武断政治から文治政治へ 生類憐みの令・・・無駄な殺生をしない平和な時代へ 貨幣の質を落とす・・・かえって物価上昇</p>
--	---



12 第5時の展開

(1) ねらい

徳川吉宗の政策の目的を考察する活動を通して、徳川吉宗の経済政策の特色を理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○「政策整理表」を確認する。 [☆] ・「年貢の強化」「上米の制」あたりを学習していこう。 ・背景は貨幣経済の浸透か。	○「政策整理表」を活用することで、本時の学習について見通しをもてるようにする。
	<p>[本時のめあて]</p> <p>財政難を乗り越えるために、徳川吉宗はどのような政治を行ったのか。</p>	
展開 35分	2 徳川吉宗の政治を理解する。 ○吉宗の政策の目的を考察する。 [☆] ・年貢の強化とは、定免法のことでも凶作でも幕府の収入は減らない。 ・上米の制で、参勤交代を緩めても米を集めたかった。 ・新田開発で、さらに年貢を集めようとした。 ・質素儉約で、無駄遣いをさせないようにした。 ・公事方御定書で、裁判の基準を示した。 ・目安箱で、庶民の意見を聞こうとした。 ○農村の変化について理解する。 [☆] ・商品作物の売買によって農村にも貨幣経済が浸透した。 ・貧富の差が生まれた。 ○工業の変化について理解する。 [☆] ・これまでの工業は問屋制家内工業で、このころから工場制手工業が始まった。	○「政策整理表」にある「年貢の強化」「上米の制」「新田開発」「公事方御定書」「目安箱」「質素儉約」について、Google Jamboard を活用して、内容や目的を班でまとめることで、特色が分かりやすくなるようにする。 ○「何を集めることで財政を立て直そうとしたか」と問い掛けることで、米集めの政策が多いことに気付けるようにする。 ●米集めの政策が多いことに気付かない生徒には、「新田開発を行うと何が増えるか」「上米の制は、参勤交代をゆるめる代わりに何を納めることになっているか」という具体的な問い掛けを行う。 ○知識の定着のため、Google Jamboard で行った吉宗の政策の内容について、プリントを配布し、確認する。 ◇享保の改革の経済政策に着目して、徳川吉宗の政治について理解している。 <プリント、発言(知技)> ○「貨幣経済の浸透が改革の背景なのに、お金ではなく米集めの政策ばかりしているのはなぜか」と問うことで、武士の米本位経済と世の中の貨幣経済とのずれに気付けるようにする。 ○デジタル教科書を活用して、農村部の百姓一揆、都市部の打ちこわしの様子について視覚的に押さえる。 ○Google スライドを活用して、農村の変化や工業の変化を押さえることで、簡潔に理解できるようにする。 ○農村の変化や工業の変化を扱う場面では、貨幣経済の浸透によって、農業を離れる庶民が出てきたことに触れ、武士の米本位経済とあわせて、幕府の仕組みが行き詰まり始めていることに気付けるようにする。
まとめ 10	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。財政政策を共通の判断材料とすることから、背景と財政政策を中心にまとめる。

分	<p>[本時のまとめ]</p> <p>吉宗は、貨幣経済が進む中、商業についてはあまり対応しなかったが、米を集めることで財政を立て直した。しかし、年貢の増税や米の買い占めによって、百姓一揆や打ちこわしが増えてきた。</p> <p>○「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。[☆]</p> <p>○振り返りを入力する。[☆]</p>	<p>○「財政難を乗り越えるためには、農業に着目すべきか、商業に着目すべきか」と問いかけることで次時へのつながりをもてるようにする。</p> <p>◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由を「判断を変えた理由」に明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。</p> <p>◇徳川吉宗の政治の特色に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 (課題解決シート、発言(思判表))</p>
---	---	---

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①政策整理表 (Google スプレッドシート)</p> <p>②吉宗の政策 (各班の Google Jamboard)</p> <p>③農村や工業の変化 (Google スライド)</p> <p>④「今日のまとめ」</p>	<p>めあて 財政難を乗り越えるために、徳川吉宗はどのような政治を行ったのか。</p> <p>徳川吉宗の政治・・・享保の改革</p> <p>※米を集めることで財政を立て直したが、貨幣経済が進む中、商業についてはあまり対応しなかった。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>※農村では百姓一揆、待ちでは打ちこわしが増えた。</p>
--	--

6班 徳川吉宗の政治 (資料集94ページ 黄色の付せん)

年貢の強化とは？	上米の制とは？	質素儉約の目的は？	新田開発の目的は？
石高を固定することで毎回一定量の米が確実に手に入る	米を納めれば参勤交代の期間を減らす制度	大名だけでなく、町人や百姓にも身分に応じた贄沢を禁止すること	幕領の石高を増やす
公事方御定書とは？	目安箱の目的は？	享保の改革の財政政策の特色は？ (緑)	
それまでの法令や裁判の判例をまとめたもの	庶民の不満解消、有益な提案募集、役人の監督強化を目指す	必死に米を集めている	

〈資料7〉

Google Jamboard の活用例 (生徒作成)。政策整理表から六つの政策に着目し、班で分担して調べ学習を行った。意図的に米に関係する政策を上段に配置し、共通点が見出しやすいようにした。

13 第6時の展開

(1) ねらい

田沼意次と松平定信の政策を比較する活動を通して、様々な財政政策によって幕府政治の立て直しを図ろうとしたことを理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○「政策整理表」を確認する。 [☆] ・今日は意次と定信の政治についてについて学習しよう。	○「政策整理表」を活用することで、本時の学習について見通しをもてるようにする。
	<p>[本時のめあて]</p> <p>財政難を乗り越えるために、田沼意次と松平定信はどのような政治を行ったのか。</p>	
展開 35分	2 それぞれの改革を理解する。 ○それぞれの政策と目的を分類する。 [☆] ・「株仲間の奨励」は「営業税を集める」ためだ。 など ・「農民を故郷に帰す」は「農村復興」のためだ。 など ○それぞれの政策の特色を考察する。 [☆] ・意次は商業を中心、定信は農業を中心として財政難を克服しようとした。 ○それぞれの改革の結果について考察する。 [☆] ・意次は自然災害や賄賂の横行で失敗した。定信は政策が厳しすぎて失敗した。	○班でそれぞれの政策と目的を Google Jamboard 上で分類する。政策については、「政策整理表」を基に分類するよう声掛けを行い、目的については調べたり、話し合ったりするよう声掛けをする。 ●それぞれの特色が見いだせない生徒には、「何を重視した政策か」と問い掛けることで、商業と農業に意識が向くようにする。 ○知識の定着のため、Google Jamboard で行った意次と定信の政策の内容について、プリントを配布し確認する。 ◇田沼意次と松平定信の政策の違いに着目して、それぞれの政治の目的を理解している。 <プリント、発言(知技)> ○Google スライドを活用して、寛政の改革を風刺した川柳を紹介したり、当時の資料を読み取ったりすることで、改革の結果を理解できるようにする。
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。 [☆] [本時のまとめ] 田沼は、商工業を中心に財政の立て直しを図ったが、自然災害や賄賂が横行し失敗した。定信は農業中心に財政の立て直しを図ったが、厳しすぎて失敗した。 ○振り返りを入力する。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。財政政策を共通の判断材料とすることから、背景と財政政策を中心にまとめる。 ◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由を「判断を変えた理由」にきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習を踏まえて入力するよう伝える。 ◇田沼意次と松平定信の政策に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 <課題解決シート、発言(思判表)>

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①政策整理表 (Google スプレッドシート)</p> <p>②意次と定信の政策と目的 (各班の Google Jamboard)</p> <p>③政策の確認 (Google スライド)</p> <p>④寛政の改革の川柳 (Google スライド)</p> <p>⑤「今日のまとめ」</p>	<p>めあて 財政難を乗り越えるために、田沼意次や松平定信はどのような政治を行ったのか。</p> <p>田沼意次の政治…貨幣経済に応じた商工業中心の政策を行ったが、賄賂やききんなどの対応ができず失敗</p> <p>松平定信の政治 (寛政の改革)…農村の立て直しを図ったが、厳しすぎて失敗</p>
--	---

政策 (青)	2班	田沼意次の政策				松平定信の政策 (寛政の改革)			
	株仲間の奨励	長崎貿易の奨励	蝦夷地の開発	印旛沼の干拓	農民を故郷に帰す	儉約令	御家人の借金帳消し	米を蓄えさせる	
	営業税を集める	金銀の輸入増大	俵物の増大	年貢を増やす	農村復興	贅沢をなくす	御家人救済	飢饉対策	
理由 (緑)									
政策の特色 (黄)	商業を重視した積極的な経済政策		商人を重視している		農村に優しい政策		農業を重視した積極的な経済政策		

〈資料8〉

Google Jamboard の活用例 (生徒作成)。青付箋と緑付箋は元々用意してあり、生徒は分類して組み合わせを考えるだけである。青付箋 (政策) は政策整理表を確認するだけで簡単に分類できる。緑付箋 (理由) は班で話し合わせたり、用語集などで調べさせたりして政策との組み合わせを考えさせた。その後、全体で確認した後、黄色付箋 (政策の特色) を班で考察した。ほとんどの班がねらい通りの内容を付箋に入力することができた。

14 第7時の展開

(1) ねらい

東海道中膝栗毛が人気を集めた理由を考察する活動を通して、化政文化の特色を理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○社会の変化に関心をもつ。 ・元禄文化から100年以上経過しているということは、文化もずいぶん変わってきている。	○「今から100年前はどんな時代だったか」と問いかけ、文化がとても変化していることに気付けるようにする。 ○化政文化が元禄文化から100年以上経過した時代であることを伝えることで、社会が変化する中で文化も発展してきているという見通しをもてるようにする。
	<p>[本時のめあて] 社会が変化していく中で、江戸中期から後期にかけて、どのような文化が生まれてきたか。</p>	
展開 ① 10分	2 新しい学問について理解する。 ○当時の社会状況を踏まえて、国学と蘭学を理解する。 [☆] ・鎖国していた。 ・幕府は海外の情報を独占していた。 ・国学は、日本固有の思想を明らかにしようとする学問だ。天皇中心。 ・蘭学は、オランダ語の書物によって研究された西洋の学問だ。	○Google スライドで国学と蘭学について説明をする。その際、国学が尊王攘夷の考え方に影響を与えたことに触れることで、幕末とのつながりを意識できるようにする。また、解体新書や伊能忠敬の地図を紹介し、その精密さに触れることで、欧米諸国の文化の高さに気付けるようにする。
展開 ② 25分	3 化政文化について理解する。 ○『東海道中膝栗毛』の人気について考察する。 [☆] ・東海道の旅をおもしろおかしく描いた作品だから。 ・貨幣経済が浸透して庶民も本を買えるようになったから。 ・寺子屋が増えて、字が読めるようになったから。 ・庶民が力をつけてきたから生まれてきた文化ではないのか。 ○化政文化について調べる。 [☆] ・「富嶽三十六景」は葛飾北斎が描いた。 ・「東海道五十三次」は歌川広重が描いた。	○『東海道中膝栗毛』が人気を集めた理由を、教科書、資料集、用語集をもとに調べて考察させる。様々な側面から人気の理由を捉えられている生徒を称賛する。 ●『東海道中膝栗毛』が人気を集めた理由がなかなか考察できない生徒には、「なぜ共感したのか」「なぜ買うことができたのか」「なぜ読むことができたのか」と問いかけることで「内容面」「経済面」「教育面」の三つの側面に着目できるようにする。 ○その他の化政文化について個人で調べ学習を行う。その際、班で考えた化政文化の特色が当てはまるかどうかを意識させることで、理解が深まるようにする。 ◇当時の社会状況に着目して、化政文化の特色を理解している。(プリント、発言(知技)) ○調べ学習の確認を Google スライドで行うことで、知識の定着を図る。
まとめ 10分	4 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。 [☆] [本時のまとめ] 貨幣経済の浸透や教育への関心の高まりにより、江戸の町人を中心とした文化が生まれた。	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由を「判断を変えた理由」にきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。

<p>○「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。[☆]</p> <p>○振り返りを入力する。[☆]</p>	<p>○貨幣経済の浸透が、文化の発展にまで影響を及ぼしていることを意識づけることで、本時の学習と単元の課題の判断を関連付けやすくする。</p> <p>◇貨幣経済の浸透により庶民が力を付けてきたことに着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。(課題解決シート、発言(知判表))</p>
---	---

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①国学と蘭学について (Google スライド)</p> <p>②東海道中膝栗毛の考察 (各班の Google Jamboard)</p> <p>③化政文化の確認 (Google スライド)</p> <p>④「今日のまとめ」</p>	<p>めあて 社会が変化していく中で、江戸中期から後期にかけて、どのような文化が生まれてきたか。</p> <p>化政文化・・・江戸中心</p> <p>庶民が力を付ける</p> <p>なぜ？貨幣経済の浸透</p> <p>(庶民が力をつける、娯楽を楽しめる)</p> <p>教育の向上 (庶民も字が読める)</p>
--	---

8班

十返舎一九『東海道中膝栗毛』が売れた原因をいろいろな側面から考察しよう。(黄色) 資料集p.99 用語集p.170

読本 (よみほん) と呼ばれる長編小説が人気だったから

庶民の生活を面白おかしく描いたこっけい本や読本と呼ばれる長編小説が人気を集めた

貸本屋 寺子屋教育が広がったから

おもしろおかしく描いたから

化政文化ってどんな文化？ (緑)

庶民

民衆にとって手に取りやすい文化

〈資料9〉

Google Jamboard の活用例 (生徒作成)。売れた原因については資料集や用語集には直接は書かれていない。しかし、「売れた原因は？」と視点を与えることで、内容面 (庶民の生活をおもしろおかしく書いているからではないか)、教育面 (寺子屋の普及で時が読めるようになってきたからではないか)、経済面 (庶民が力を付けてきて本を買えるようになってきたからではないか) に着目する班がでてきた。そして、特色をつかむ際には、付箋に書かれたキーワードに着目するため、「庶民中心」という特色をつかむことができた。また、その他の化政文化を調べ学習する際に、実際はどうかということ意識させながら調べ学習をさせると、生徒は「やっぱりそうだ」「これについても言えそうだ」とより主体的に調べ学習に取り組むことができる。

15 第8時の展開

(1) ねらい

天保の改革で行われた背景や政策の結果を考察する活動を通して、幕府政治が行き詰まっていったことを理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○「政策整理表」を確認する。 [☆] ・今日は最後の改革である天保の改革を学習しよう。	○「政策整理表」を活用することで、本時の学習について見通しをもてるようにする。
	<p>[本時のめあて] 財政難を乗り越えるために、水野忠邦はどのような政治を行ったのか。</p>	
展開 ① 10分	2 改革の背景を理解する。 ○国際的な背景を読み取る。 [☆] ・アメリカ、イギリスなどたくさんの船が日本に来ている。 ・目的は通商とまきなどの要求だ。 ・蛮社の獄はひどい。 ・もう鎖国は無理なのではないか。 ○国内の背景を読み取る。 [☆] ・天保のききんの立て直しだ。 ・元役人が反乱を起こすとは、大塩の乱は大変だ。	○デジタル教科書にある『外国船の来航』『外国船の来航件数の推移』の資料から、日本に外国船が来始めたことや通商を求めていることを読み取らせることで、国際状況が変化してきていることに気付けるようにする。 ○外国船の接近から異国船打払令、蛮社の獄や薪水給与令までの流れを説明することで、鎖国という政策が時代に合わなくなってきたことに気付けるようにする。 ○Google スライドを活用し、天保のききんの被害状況や大塩の乱の様子を簡単に説明する。
展開 ② 25分	3 天保の改革と雄藩の改革について理解する。 ○政策と目的について整理する [☆] ・人返し令は農村復興が目的だが、百姓は苦しいだろう。 ・株仲間解散令は物価高騰を防ぐが目的だが、町人は反発するだろう。 ・上知令は幕府にとっては有効だが、大名は嫌だろう。 ・この改革は上手くいかないだろう。 ○雄藩の改革を理解する。 ・農業より商業を中心に改革を行って改革に成功した。	○Google Jamboard を活用して、班で政策の目的を考察する。その際、「誰が(どの身分)が反発するだろうか」と声掛けすることで、改革の失敗に気付けるようにする。また、雄藩の改革と比較しやすいように、経済政策が米集め中心であることに触れておく。 ◇大名や庶民の気持ちに着目して、天保の改革が行き詰まった理由を理解している。(プリント、発言(知技)) ○知識の定着のため、Google Jamboard で行った天保の改革の内容について、プリントを配布し確認する。 ○『諸藩の改革』の資料を参考に、雄藩の改革が成功した理由を考察することで、商業に重点を置いた雄藩が改革に成功したことに気付けるようにする。

<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。[☆]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[本時のまとめ]</p> <p>忠邦はききんや外国船の接近など苦しい状況の中で、株仲間を解散したり、農民を村に帰したり、幕領を増やそうとしたりしたが、様々な反発にあい、失敗した。</p> </div> <p>○「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。[☆]</p> <p>○振り返りを入力する。[☆]</p>	<p>○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。財政政策を共通の判断材料とすることから、背景と財政政策を中心にまとめる。</p> <p>◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由を「判断を変えた理由」にきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。</p> <p>◇水野忠邦の政策に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
-----------------------	--	--

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①政策整理表 (Google スライド)</p> <p>②デジタル教科書等の資料</p> <p>③天保のききん、大塩の乱 (Google スライド)</p> <p>④天保の改革 (各班の Google Jamboard)</p> <p>⑤政策の確認 (Google スライド)</p> <p>⑥「今日のまとめ」</p>	<p>めあて 財政難を乗り越えるために、水野忠邦はどのような政治を行ったのか。</p> <p>〈背景〉</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>①国外との関係</p> <p>フェートン号事件</p> <p>異国船打払令</p> <p>モリソン号事件</p> <p>↑高野長英、渡辺崋山が幕府を批判</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2人を処罰 (蛮社の獄)</p> <p>※鎖国という幕府の方針が時代に合わなくなってきた</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <p>②国内の状況</p> <p>天保のききん</p> <p>※世の中不安定</p> <p>→大塩の乱 (1837) …大塩平八郎 (幕府側の人) が反乱を起こした。=危機的状況</p> </td> </tr> </table>	<p>①国外との関係</p> <p>フェートン号事件</p> <p>異国船打払令</p> <p>モリソン号事件</p> <p>↑高野長英、渡辺崋山が幕府を批判</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2人を処罰 (蛮社の獄)</p> <p>※鎖国という幕府の方針が時代に合わなくなってきた</p>	<p>②国内の状況</p> <p>天保のききん</p> <p>※世の中不安定</p> <p>→大塩の乱 (1837) …大塩平八郎 (幕府側の人) が反乱を起こした。=危機的状況</p>
<p>①国外との関係</p> <p>フェートン号事件</p> <p>異国船打払令</p> <p>モリソン号事件</p> <p>↑高野長英、渡辺崋山が幕府を批判</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2人を処罰 (蛮社の獄)</p> <p>※鎖国という幕府の方針が時代に合わなくなってきた</p>	<p>②国内の状況</p> <p>天保のききん</p> <p>※世の中不安定</p> <p>→大塩の乱 (1837) …大塩平八郎 (幕府側の人) が反乱を起こした。=危機的状況</p>		

5班	政策	目的（黄色）	（緑）
	儉約令 印旛沼の開発再開	贅沢を させない ため	百姓
	人返し令 （農民を故郷に帰らす）	荒廃した農 地の復興の ため	百姓 農民
	株仲間解散	物価の高騰 を抑制する ため 問屋たちの 不正を防ぐ ため	町人
	上知令 （幕領を増やす）	幕府の収入 を増やすた め 清がイギリ スに負けた ため 防衛を 固める ため	大名

〈資料10〉

Google Jamboard の活用例（生徒作成）。目的（黄色付箋）は班で調べたり話し合わせたりしてまとめさせる。それを全体で共有した後、「この政策に反発した人は誰だろうか」と問い掛け、緑付箋に入力させた。この活動を行うことで、様々な身分から反発を受けたことに気付くことができる。

16 第9時の展開

(1) ねらい

現時点における自分の考えと他者の考えとの交流を通して、新たな気付きや、異なる立場の意見を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを表現できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目＜方法（観点）＞ [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○単元の課題について最終的に自分の考えをまとめることを確認する。 [本時のめあて] 友達との意見交流を踏まえて、自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。	
展開 35分	2 自分の考えをまとめる。 ○これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ・この政策から、こう考えたので、□ □に対する政策を重視すべきだと説明しよう。 ○自分の考えを班で交流する。 [☆]	◎自分の考えをまとめる場面では、これまでの自分の判断とその理由を振り返った上で、相手が納得いくような説明ができるように考えを整理するよう声掛けする。 ○ディベートではないため、傾聴を心がけることを伝え、多面的・多角的な見方・考え方が広がるように、

- ・判断は一緒だが、根拠が異なる。
 - ・判断は異なるが、確かにそれも言える。
- 交流を踏まえて自分の考えを再検討する。〔☆〕

- 自分と異なる考えや立場に触れたときには、質問してもよいことを伝える。
- 全体として極端に判断が偏る場合は、同じ判断で集まって共有させた後、少数派の考えを全体で共有させる。
 - 全体としては、判断は偏っていないが、班では全員同じ判断の場合は、班のメンバーを入れ替え、交流が深まるようにする。
 - ◎最終的な自分の考えをまとめる場面では、誰と判断したかより、判断した理由をきちんと示すことが重要であることを伝える。
 - 理由が明確になっていない生徒には、「一番そう思ったのはどの授業だったか」と問い掛けることで、理由をまとめられるようにする。
 - ◇多面的・多角的に単元のめあてについて考察し、自分の考えを表現している。
- 〈課題解決シート、発言（思判表）〉〔記〕

〈予想される生徒の考えの例〉

(綱吉) 結果として物価上昇で失敗したと言えども、貨幣改鑄で財政難を乗り切ろうとした綱吉はすごいと思う。貨幣経済の浸透に、米の増加ではなく、貨幣で対応しようとし、さらに金の含有量ではなく、貨幣自体に価値をもたせようと試みたこの視点は、他の政治家にはないので、綱吉の考えはすごいと思った。時代を先取りしすぎたから失敗してしまったのかもしれないと思った。

(吉宗) 貨幣経済が浸透してきているから貨幣をどうするかで対応しがちだけど、現時点では米が給料代わりなので、米を集めるという視点をもち、ぶれずにやりきったところがすごいと思う。また、寛政の改革、天保の改革の見本となっているので、他の政治家よりすごいと言える。

(意次) これまでは改革＝米集めだったのに、貨幣経済の浸透という現状を真正面から受け止めて、いかにお金を集めるかという視点で改革に取り組んだのはすごいと思う。三大改革はみんな米集めで、綱吉は貨幣に着目していたけど、意次の時代と比較したら安定していた時代だし、積極的な政策は意次の方がはるかに多い。浅間山の噴火や天明のききんがあったし、急に米からお金に切り替えた政策を打ち出したので、商人はどうしても流されてしまう。そんな背景があるから、失敗してしまっただけで、財政難を乗り越える政策としてすごいと思った。

(定信) 厳しすぎると評判はよくないが、国を立て直すために心を鬼にして政策を実施したのはすごいと思う。ききん対策とかきちんと庶民がついて来ることができたら成功していたと思う。

(忠邦) これまでの改革を参考にいいところ取りをした改革であり、物価高騰を避けるために株仲間を解散もしているので、これまでの改革よりすごいと思う。もう誰が改革をしても立て直しは無理だったと思うので、その中でこれだけ頑張ったのだから一番支持できる政治家だと思う。

まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○友達のことを知る。 ・こういう考えもある。 ○「これからの単元に向けて」「単元の振り返り」をまとめる。[☆]	○Google スプレッドシートに全員の考えを集約し、共有する時間を設定することで、単元の課題に対する考えを更に深められるようにする。 ○「これからの単元に向けて」の発問である「この後、江戸幕府は開国という判断を下しますが、あなたならどうしますか？理由も教えてください。」は、自由に書いていいことを伝え、単元間のつながりをもてるようにする。 ◎「単元の振り返り」は、予想と比較するよう声掛けし、判断の理由が多面的・多角的に深まっている生徒を称賛する。 ◇産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとしている。〈課題解決シート、発言（主体態）〉〔記〕
<p>〈予想される「これからの単元に向けて」の記入例〉</p> <p>(開国する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しなかったら日本は植民地になるから ・開国して文化のレベルを上げるべきだから ・外国と仲良くすべきだから <p>(開国しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・したら日本は植民地になるから ・日本だけでやっていけるから ・貨幣経済が浸透してきたことを踏まえた経済政策を打ち出せば乗り越えられるから 		<p>〈予想される生徒の「単元の振り返り」の記入例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の考えと比較すると、今の考えの方が説得力があって、最初のころはずいぶん適切な考えだったと思った。 ・学習するごとに、この政治家すごいなと思ったので、判断には毎回悩みました。結局は、貨幣経済が浸透していく中で、たくさんの政治家が努力したけど、幕府の政治は次第に行き詰まっていったんだなと思った。 ・友達と最後に意見交流したが、確かにそういう見方があるなと思った。自分の考えも大切だと思うが、友達の意見も大切だと思った。 ・改革って難しいなと思った。ぶれないことも大切だし、ぶれずに頑張っても庶民から支持されなければ失敗してしまう。政治って難しいなと思った。 ・この後どうやって減んでいくのか知りたい。 ・貨幣経済が中心の世の中にならぬのか知りたい。

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p>	<p>めあて 友達との意見交流を踏まえて、自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。</p> <p>私は〇〇の経済政策を一番支持します。なぜなら～。</p>
------------------	---

1 単元名 開国と近代日本の歩み「欧米の進出と日本の開国」

2 単元観

本単元は、中学校学習指導要領〔歴史的分野〕の中項目「（1）近代の日本と世界」の「（ア）欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」「（イ）明治維新と近代国家の形成」に関連する部分である。本単元と関連するねらいとしては、大きく四つが示されている。一つ目は、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解することである。二つ目は、開国とその影響を基に、人々の生活が大きく変化したことを理解することである。「開国とその影響」については、欧米諸国のアジア進出と関連付けて取り扱うようにし、幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的及び社会的な影響を踏まえ、それが明治維新の動きを生み出したことに気付くことができるようにしている。三つ目は、政治や社会の変化、経済の変化の政治への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することである。四つ目は、日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することである。その際には、学習した内容を比較したり関連付けたりするなどして、その結果を言葉や図などで表したり、意見交換したりする活動を取り入れるとしている。そして、そのような活動によって、「『思考力、判断力、表現力等』を養うとともに、各時代の特色を生徒が自分の言葉で表現できるような『確かな理解と定着を図る』ことが求められる」としている。

そこで本単元では、①欧米のアジア侵略、②開国と不平等条約、③開国後の政治と経済、④江戸幕府の滅亡を主に学習する。①では、片貿易と三角貿易の仕組みを考察する活動を通して、欧米諸国がアジアへ進出した過程について理解できるようにする。②では、不平等条約締結から桜田門外の変までを考察する活動を通して、尊王攘夷運動がさかんになり、幕府の権威が失墜していったことを理解できるようにする。③では、貿易品目や金銀の交換比率に関する資料の読み取りを通して、開国後の経済の変化について理解できるようにする。④では、薩摩藩や長州藩の動きや幕府の対応を整理する活動を通して、江戸幕府滅亡までの経緯を理解できるようにする。

これらの学習では、日米修好通商条約の内容や貿易の影響を班で考察したり、デジタル教科書で金銀の交換比率の違いを視覚的に捉えさせたりすることができる。したがって、ICTを活用することで、考えを整理したり、深めたりすることが行いやすくなる単元と言える。また、開国による政治的影響、経済的影響について、単元を通して学習していくことから、「あなたは、日本のために、開国すべきだったと思いますか、鎖国を続けるべきだったと思いますか」という意思決定を伴う単元の課題を設定することができる。この単元の課題は、「開国すべきか、鎖国を続けるべきか」という二択なので、自分の考えがもちやすく、単位時間ごとに学習内容を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを繰り返しまとめることができるため、学習するごとに考えを深めていくことができる。また、その都度学習内容を繰り返し確認することから知識の定着を図ることも可能と言える。また、意思決定を伴う単元の課題のため、正解となる考えはなく、判断や判断理由が様々なため、他者との交流を行うことで、考えを更に深めることができると言える。これらのことが本単元を学習することの意義であると考えられる。

3 指導方針

- ・単元の「つかむ」過程で、現時点の経験や既習事項踏まえて、自分なりの判断ができるように、「賛成か反対か」、「どれが一番よいと考えるか」といった意思決定を伴う「単元の課題」を設定する。そのような課題を設定することを通して、自分なりの考えをもたせる。
- ・単元の「追究する」過程の振り返りの場面で、単位時間ごとに単元の課題に対する自分の考えを、単位時間の学習を踏まえてもう一度見直し、判断を変更したり、判断の理由を深めたりする活動を取り入れ

る。そのような活動を単位時間ごとに繰り返すことで、生徒の考えを深めさせていく。

- ・単元の「まとめる」過程で、生徒同士で考えを交流する活動を取り入れる。これまで、単位時間ごとに自分の考えを再検討してきたため、生徒は自分の考えに自信をもつことができている。交流する場面では、様々な意見があること、どれも間違いではないことを伝え、自信をもって発表させる。更には、交流を踏まえて、自分の考えを再検討させることで、更に考えを深めさせていく。
- ・単元の「まとめる」過程で、「つかむ」過程における自分の考えと、学習を終えた際の自分の考えを比較する活動を通して、自分の考えの深まりに気付かせ、学習に対する充実感を得させる。
- ・全体を通して、ICTを活用し、学習の効率化を図ったり、思考する活動を有意義なものにしたりする。

4 単元の見目標

(1) 知識及び技能

- ・開国とその影響などを基に、幕府が対外政策を転換したこと、それが国内の大きな変化につながったことを理解する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

- ・欧米諸国のアジア進出の理由や背景などに着目し、開国の影響とその後の幕府政治の動向などを関連付けるなどして、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

- ・開国とその影響について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。

5 単元の評価規準

(1) 知識・技能

- ・開国とその影響などを基に、幕府が対外政策を転換したこと、それが国内の大きな変化につながったことを理解している。

(2) 思考・判断・表現

- ・欧米諸国のアジア進出の理由や背景などに着目して、開国の影響とその後の幕府政治の動向などを関連付けるなどして、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ・開国とその影響について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

6 指導と評価の計画（全6時間）

過程	時間	●ねらい ○学習活動 [☆] : ICT活用	重点	◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ●片貿易と三角貿易の仕組みを考察する活動を通して、欧米諸国がアジアへ進出した過程について理解できるようにする。 ○片貿易と三角貿易について考察する。 [☆] ○南京条約について考察する。 [☆] ○インドの植民地化について理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[本時のめあて] 欧米諸国の台頭は、アジアにどのような影響を与えたのか。</p> </div>	知	◇イギリス、インド、清の貿易方法の変化に着目して、欧米諸国がアジアへ進出した経緯を理解している。 (プリント、発言(知))

2	<p>●既習事項を基に、単元の課題を立てる活動を通して、開国とその影響について追究する意欲をもてるようにする。</p> <p>○開国の影響を考察する。〔☆〕</p> <p>○単元の課題をつかむ。</p> <p>○自分の考えをもつ。〔☆〕</p> <p>[本時のめあて] 既習事項や開国に関する学習を通して、単元の課題を立てよう。</p>	態	<p>◇単元のめあてに対する自分の考えをもち、これからの追究活動に対する意欲をもっている。</p> <p>〈課題解決シート、発言(態)〉〔記〕</p>
<p>[単元の課題] あなたは、日本のために、開国すべきだったと思いますか、鎖国を続けるべきだったと思いますか。</p>			
追究する 3	<p>●不平等条約締結から桜田門外の変までを考察する活動を通して、尊王攘夷運動がさかんになり、幕府の権威が失墜していったことを理解できるようにする。</p> <p>○日米修好通商条約について調べ、事柄について考察する。〔☆〕</p> <p>○尊王攘夷派と庶民の心情を考察する。</p> <p>○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する〔☆〕</p> <p>[本時のめあて] 開国によって、日本の政治はどのような影響を受けたのだろうか。</p>	知	<p>◇不平等条約締結後の政治の流れに着目して、開国による政治的な影響について理解している。</p> <p>〈プリント、発言(知)〉</p> <p>◇尊王攘夷派の台頭に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言(思)〉</p>
4	<p>●貿易品目や金銀の交換比率に関する資料の読み取りを通して、開国後の経済の変化について理解できるようにする。</p> <p>○物価上昇について考察する。〔☆〕</p> <p>○金銀の交換比率について理解する。〔☆〕</p> <p>○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する〔☆〕</p> <p>[本時のめあて] 開国によって、日本の経済はどのような影響を受けたのだろうか。</p>	知	<p>◇貿易による物資の流出や金銀の交換比率に着目して、貿易開始による物価上昇について理解している。</p> <p>〈プリント、発言(知)〉</p> <p>◇開国による物価上昇に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言(思)〉</p>
5	<p>●薩摩藩や長州藩の動きや幕府の対応を整理する活動を通して、江戸幕府滅亡までの経緯を理解できるようにする。</p> <p>○長州藩と薩摩藩の動きを理解する。〔☆〕</p> <p>○民衆、幕府、新政府の動きについて理解する〔☆〕</p> <p>○「今日のまとめ」を行い、「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。</p> <p>[本時のめあて] どのような経緯で、江戸幕府は滅んだのだろうか。</p>	知	<p>◇雄藩や幕府の動きに着目して、江戸幕府滅亡までの経緯を理解している。</p> <p>〈プリント、発言(知)〉</p> <p>◇江戸幕府滅亡の経緯に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>〈課題解決シート、発言(思)〉</p>

まとめ	<p>●現時点における自分の考えと他者の考えとの交流を通して、新たな気づきや、異なる立場の意見を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを表現し、単元のまとめができるようにする。</p> <p>○自分の考えを班で友達と交流する。〔☆〕</p> <p>○交流を踏まえて自分の考えを再検討する。〔☆〕</p> <p>6 ○友達の考えを知る。〔☆〕</p> <p>○「これまでの学習を踏まえたまとめ」「単元の振り返り」をまとめる。〔☆〕</p>	思 態	<p>◇江戸幕府の滅亡について、欧米のアジア進出に着目して、多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現している。〈課題解決シート、発言（思判表）〉〔記〕</p> <p>◇開国とその影響について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。〈課題解決シート、発言（態）〉〔記〕</p>
	<p>【本時のめあて】</p> <p>友達との意見交流を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。</p>		

7 第1時の展開

(1) ねらい

片貿易と三角貿易の仕組みを考察する活動を通して、欧米諸国がアジアへ進出した過程について理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	<p>○学習活動</p> <p>・予想される生徒の反応</p> <p>〔☆〕：ICT活用</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>●努力を要する生徒への支援</p> <p>◇評価項目〈方法（観点）〉〔記〕：記録に残す評価</p>
導入 10分	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○アジアとイギリスの綿織物の輸出額を読み取る。〔☆〕</p> <p>・1700年代後半は、アジアからヨーロッパに向けて綿織物が輸出されていたが、1800年代から、イギリスからアジアへ輸出が増えてきた。</p> <p>・産業革命がきっかけではないか。</p>	<p>○何がきっかけでイギリスからアジアへ大量に綿織物が輸出され始めたかを問うことで、産業革命を機にアジアと欧米諸国の関係が変化したことに気付けるようにする。</p>
	<p>【本時のめあて】</p> <p>欧米諸国の台頭は、アジアにどのような影響を与えたのか。</p>	
展開 33分	<p>2 欧米諸国のアジア侵略の経緯を理解する。</p> <p>○片貿易と三角貿易について理解する。〔☆〕</p> <p>・片貿易だとイギリスは赤字だ。</p> <p>・三角貿易によってイギリスは黒字になる。</p> <p>・インドも中国も不満がたまる。</p> <p>○アヘン戦争に関する資料を読み取る。〔☆〕</p> <p>・蒸気船の方がイギリス船だ。</p> <p>・南京条約は不平等条約だ。</p>	<p>○片貿易と三角貿易の違いを視覚的に捉えられるように、Google スライドを活用して説明する。</p> <p>○三角貿易について、インドと中国の気持ちを想像させることで、その後の動きについて見通しをもてるようにする。</p> <p>●イギリスについて、綿織物を輸入する立場から輸出する立場に変わった理由が分からない生徒には、導入で示した資料を再提示し、産業革命により綿織物を大量生産できるようになったことに気付けるようにする。</p> <p>◇イギリス、インド、清の貿易方法の変化に着目して、欧米諸国がアジアへ進出した経緯を理解している。</p> <p>〈プリント、発言（知）〉</p>

	<p>○南京条約の内容を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領地が取られるのは嫌だ。 ・お金を取られると生活が苦しい。 ・開港によって植民地みたいになる。 ・領事裁判権を認めると、人権が侵害される。 ・関税自主権がないと、国内産業が苦しくなる。 <p>○インドの植民地化について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手工業は機械化にかなわない。 ・インド大反乱の気持ちがわかる。 ・植民地化はこうやって進むのか。 	<p>○アヘン戦争を示した絵を基に、どちらがイギリス船か問うことで、産業革命の影響や戦力の違いに気付けるようにする。</p> <p>○南京条約の内容を Google スライドで整理して示すことで、重要な点に気付けるようにする。生徒には関連するプリントを配布する。</p> <p>○「関税自主権がないこと」「領事裁判権を認めること」は、日米修好通商条約の内容と関連するため、丁寧に説明し、生徒に意識付けしておく。</p> <p>○南京条約の内容について、Google Jamboard の活用して、国民にとって嫌だなと思う条件二つを班で考察させることで、欧米諸国の台頭について理解を深められるようにする。</p> <p>◎インドの植民地化が進む経緯は、単元の課題を考察していく上で重要な部分なので、丁寧に説明する。</p>
まとめ 7分	<p>3 本時の学習を振り返る。 ○まとめと振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【本時のまとめ】</p> <p>中国はアヘン戦争でイギリスに負け、不平等条約を結ばされた。インドは、安い綿織物の流入により国内産業が打撃を受けた。中国、インドともに反乱を起こしたが鎮圧され、さらに不利な状況になった。</p> </div>	<p>○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。</p> <p>◎欧米諸国がアジアへ進出してきた背景や影響を確認することで、単年で扱う日本の開国や開国後の影響について関心をもてるようにする。</p>

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①片貿易と三角貿易 (Google スライド) ②南京条約 (Google スライド) ③南京条約の考察 (各班の Google Jamboard) 	<p>めあて 欧米諸国の台頭は、アジアにどのような影響を与えたのか。</p> <p>〈中国の様子〉</p> <p>1840年 アヘン戦争 イギリス○ VS 中国×</p> <p>1842年 南京条約→太平天国の乱</p> <p>〈まとめ〉</p> <p>中国はアヘン戦争でイギリスに負け、不平等条約を結ばされた。インドは、安い綿織物の流入により国内産業が打撃を受けた。中国、インドともに反乱を起こしたが鎮圧され、さらに不利な状況になった</p>
---	--

内容

1班

①香港 (ホンコン) をイギリスにゆずる

②賠償金をイギリスに支払う

③上海 (シャンハイ) など5港を開港する

④領事裁判権をイギリスに対して認める

⑤清に関税自主権がない

◇班で話し合い、国民にとって苦しいと考える内容を2つ挙げて、その理由を付せんに書こう。

①領地が取られるのは嫌だから

②お金を取られると生活が苦しくなるから

③開国すると植民地になるから

④貿易で不利になるから

⑤人権侵害されるから

⑥開国すると植民地になるから

〈資料1〉

Google Jamboard の活用例 (見本)。
付箋が五つ示されているが、実際は①～⑤の中から班で二つ選択し、その理由を考察して付箋に入力する。二つを選択する過程で人によって様々な捉え方があることに気付かせつつ、どの条件も国として、庶民として苦しいものであることを押さえる。また、検討する中で、知識の定着も図ることができる。

8 第2時の展開

(1) ねらい

既習事項を基に、単元の課題を立てる活動を通して、開国とその影響について追究する意欲をもてるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 7分	1 本時のめあてをつかむ。 ○これからの学習の見通しをもつ。 ・ペリーが来て開国する。 ・いよいよ江戸幕府が滅ぶ。	○小学校の既習事項や前時の学習を振り返ることで、本時のめあてをつかめるようにする。
	[本時のめあて] 既習事項や開国に関する学習を通して、単元の課題を立てよう。	
展開 ① 15分	2 開国について理解する。 ○ペリー来航の状況をつかむ。 [☆] ・ペリーはこわい存在だ。 ・黒船はとても大きい。 ・4隻でも十分だ。 ○日米和親条約について調べる。 [☆] ・下田、函館を開港する。 ・アメリカ領事を下田に置く。 ・アメリカ船に食料や水、石炭を供給する。	○ペリーの似顔絵や黒船と日本の船を比較した資料などを提示することで、当時の人々の心境をつかみやすくする。 ○日米和親条約の調べ学習では、「アメリカの目的」「開港地」という視点に沿って調べさせることで、次に扱う日米修好通商条約との違いに気付きやすくする。また、同様の理由から、締結にあたって大名に相談したり、朝廷に報告したりしたことを補足しておく。 ○日露和親条約の国境画定について触れることで、北方領土に関心をもてるようにする。
展開 ② 20分	3 単元の課題をつかみ、考えをもつ。 ○開国の影響を考察する。 [☆] <メリット> ・新しい文化が入ってくる。 <デメリット> ・外国人が入ってくる。 ・植民地化される。 ・大名が反乱を起こす。 ・物価が上昇する。	◎開国の影響を考察する場面では、Google Jamboardの活用し、「メリット」「デメリット」の視点から、班で自由に意見を出させることで、多面的・多角的な考えをもてるようにする。(以後ここでまとめたGoogle Jamboardを「開国影響シート」とする)。 ◎開国した後、滅亡に向かっていったことは小学校の既習事項で知っているため、単元の課題をつかませる際には、「日本のために」という視点を設けることで様々な考えをもてるようにする。
	[単元の課題] あなたは、日本のために、開国すべきだったと思いますか、鎖国を続けるべきだったと思いますか。	
	○単元の課題に対する考えをもつ。 ・開国) 外国の文化は進んでいるから、日本のために開国すべき。 ・鎖国) 植民地にされるので、日本のためには鎖国を続けるべき。 ○考えを発表する。 ○学習計画を立てる。 ・政治面の影響を調べていこう。	◎課題解決シートに自分の考えを入力する。その際、現時点での判断理由も合わせて書くように、声掛けをする。 ◎様々な考えがあることや、自分の判断の根拠が不明確であることに気付かせるために、現時点の予想を発表させる。 ◎学習計画については、生徒の考えや開国影響シートを基に、政治面の影響、経済面の影響を中心に考察していくことを確認する。

	・貿易が始まるから経済面の影響が大きいと思う。	
まとめ 8分	4 本時の学習を振り返る。 ○「振り返り」を、タブレット端末を用いて入力する。[☆]	◇単元のめあてに対する自分の考えをもち、これからの追究活動に対する意欲をもっている。 〈課題解決シート、発言（態）〉 [記]

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①ペリー似顔絵 など (Google スライド)</p> <p>②開国影響シート (各班の Google Jamboard)</p>	<p>めあて 既習事項や開国に関する学習を通して、単元の課題を立てよう。</p> <p>ペリー来航 (1853) …浦賀に来る 日米和親条約 (1854) ※大名に相談し、朝廷の許可を得た。 アメリカの目的) 食料や石炭を供給してもらうため 開港地) 下田、函館 〈単元の課題〉 江戸幕府は、日本のために、開国をすべきだったのか、鎖国を続けるべきだったのか。</p>
--	---

開国の影響	
1 班	
メリット	デメリット
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 5px;">新しい文化が入ってくる</div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 5px;">貿易が盛んになる</div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 5px;">国が発展する</div> </div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 10px 0 10px 20px;">外国と仲良くなれる</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 5px;">外国人が入ってくる</div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 5px;">植民地になってしまおうかもしれない</div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 5px;">戦争になる</div> </div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin: 10px 0 10px 20px;">物価が上昇する</div>

〈資料2〉

Google Jamboard の活用例 (生徒作成)。開国の影響について、メリットとデメリットを班で自由に出し合って付箋に記入する。ここでデメリットに注目した生徒は、「鎖国を続けるべき」の理由としてこれらを参考にすることが考えられる。一方で、メリットに着目した生徒は、「開国すべき」の理由としてこれらを活用することが考えられる。また、学習が苦手な生徒もここで出された理由を参考に、最初の考えをもつことができる。また、ここで作成した「開国影響シート」は「追究する」過程の導入で活用する。例えば、ここで政治面に関する記述があれば、政治面を学習する単位時間の導入で紹介し、「実際はどうだったのだろうか?」と投げ掛け、学習する動機付けを行い、めあてを提示していく。

9 第3時の展開

(1) ねらい

不平等条約締結から桜田門外の変までを考察する活動を通して、尊王攘夷運動がさかんになり、幕府の権威が失墜していったことを理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

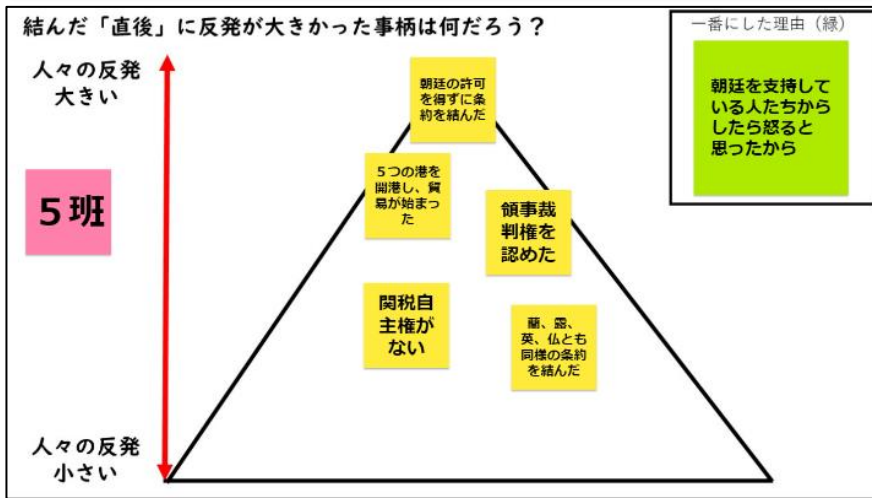
(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆] : ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記] : 記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○開国影響シートを確認する。 [☆] ・政治面の影響について学習しよう。	○前時で作成した「開国影響シート」を活用することで、本時の学習について見通しをもてるようにする。
	[本時のめあて] 開国によって、日本の政治はどのような影響を受けたのだろうか。	
展開 35分	2 尊王攘夷運動がさかんになる経緯を理解する。 ○日米修好通商条約に関する内容や事柄について考察する。 [☆] ・5つも港を開けると、外国人がたくさん来てしまう。 ・領事裁判権を認めると、外国人犯罪が増えてしまう。 ・日本に関税自主権がないと、安い農産物がたくさん入ってきてしまう。 ・五カ国と同様の条約を結んだら大変だ。 ・勅許得ずに条約を結ぶなんて、天皇に対して失礼すぎる。 ○尊王攘夷派と庶民の心情を考察する。 ・修好通商条約締結) 勅許を得ないで結ぶなんて、天皇に対して失礼だ。 ・安政の大獄) 井伊直弼許せない。 ・桜田門外の変) 尊王攘夷派の気持ちはよく分かる。幕府はもう終わり など	○日米修好通商条約の調べ学習終了後、「結んだ直後に反感が大きかった事柄はどれか」と問いかけ、Google Jamboardを活用して、班でランキングを作成するよう声掛けを行う。そして、その理由を考察させることで、条約に対する理解を深められるようにする。 ○天皇の許可を得なかったことを上位にした班に理由を聞くことで、尊王攘夷派の存在を意識付けられるようにする。 ○天皇の許可を得なかったことを上位にした班がない場合は、反発した人々の中心が尊王攘夷派であることを伝えることで、なぜ反発したのかを考えられるようにする。 ○Google Jamboard を活用して、尊王攘夷派の心情の高ぶりを考察させることで、尊王攘夷運動が盛んになる様子を捉えられるようにする。また、桜田門外の変に関しては、庶民の心境を考察させることで、幕府の権威失墜について捉えられるようにする。 ●桜田門外の変に関する庶民の心情が分からない生徒には、大老の権力を説明し、下剋上を想起させることで、混乱していく様子を捉えられるようにする。 ◇不平等条約締結後の政治の流れに着目して、開国による政治的な影響について理解している。 (プリント、発言(知))
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。 [☆] [本時のまとめ] 尊王攘夷運動がさかんになり、井伊直弼が暗殺され、幕府の権威は大きく失われた。 ○「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆] ○振り返りを入力する。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「開国しなければ、幕府の権威は失われなかったのか」「日本のためと考えた場合どうか」と判断の前に異なる視点などを声掛けすることで、考えを深められるようにする。 ◎「学習後の判断」を当初の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由をきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。

◇尊王攘夷派の台頭に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。
 〈課題解決シート、発言（思）〉

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①開国影響シート ②条約の事柄について（各班の Google Jamboard） ③「今日のまとめ」</p>	<p>めあて 開国によって、日本の政治はどのような影響を受けたのだろうか。</p> <p>日米修好通商条約（1858年）を結ぶ ↓ 尊王攘夷運動がさかんになる ↓ 安政の大獄（反対派の処罰。吉田松陰など） ↓ 1860年 桜田門外の変（井伊直弼暗殺） ※幕府の権威が下がり、幕府は公武合体策に移行し始めた。</p>
--	--



【① 日米修好通商条約を結んだ後の尊王攘夷派の気持ち】

天皇の許可を得ないなんて...	天皇の言うことを破りやがて!	自分勝手に結ぶな
もっと天皇の意見を尊重するべきだ	もっと人の意見をきけ	自分勝手な行動するな

【② 安政の大獄で処罰された武士と親しい人たちの気持ち】

ひどい仕打ちだ	もうついていけない	どうしてそうなるの
納得いかない	幕府許せない	かたきをとってやる

【③ 桜田門外の変を目の当たりにした庶民の気持ち】

幕府大丈夫?	大老が暗殺されるなんて...	もう幕府終わりだな
武士の不満たまっているんだな	やられても仕方ないかな	だれがやったの?

〈資料3〉

Google Jamboard の活用例（生徒作成）。左上のピラミッド型のは、入力済みの黄色付箋を人々の反発が大きいと考えられる順に並び替える。緑付箋が一番にした理由を班で考察して入力する。話し合いのはじめの頃は、「関税自主権がない」「領事裁判権を認めた」という知識を覚えている生徒が中心となって、それらを上位に位置付けている班が多かったが、「不平等条約を結んだ『直後』だとどうかな?」「みんなは最初から関税自主権がないって意味が分かっていた?」と問い掛けると、内容より感情論が優先され「朝廷の許可を得ずに条約を結んだ」を一番にする班も増えてきた。また、改めて用語集等で領事裁判権や関税自主権を調べる生徒もおり、知識の定着にもつながった。

左の①～③のシート（生徒が作成したものを基に付箋を整理）には、当時の人の気持ちになって、生徒が一斉に付箋を入力する。様々な思いがあったことに気付かせつつ、庶民の怒りや不安を焦点化させながら、まとめにつなげていった。

10 第4時の展開

(1) ねらい

貿易品目や金銀の交換比率に関する資料の読み取りを通して、開国後の経済の変化について理解できるようにする。

(2) 準備

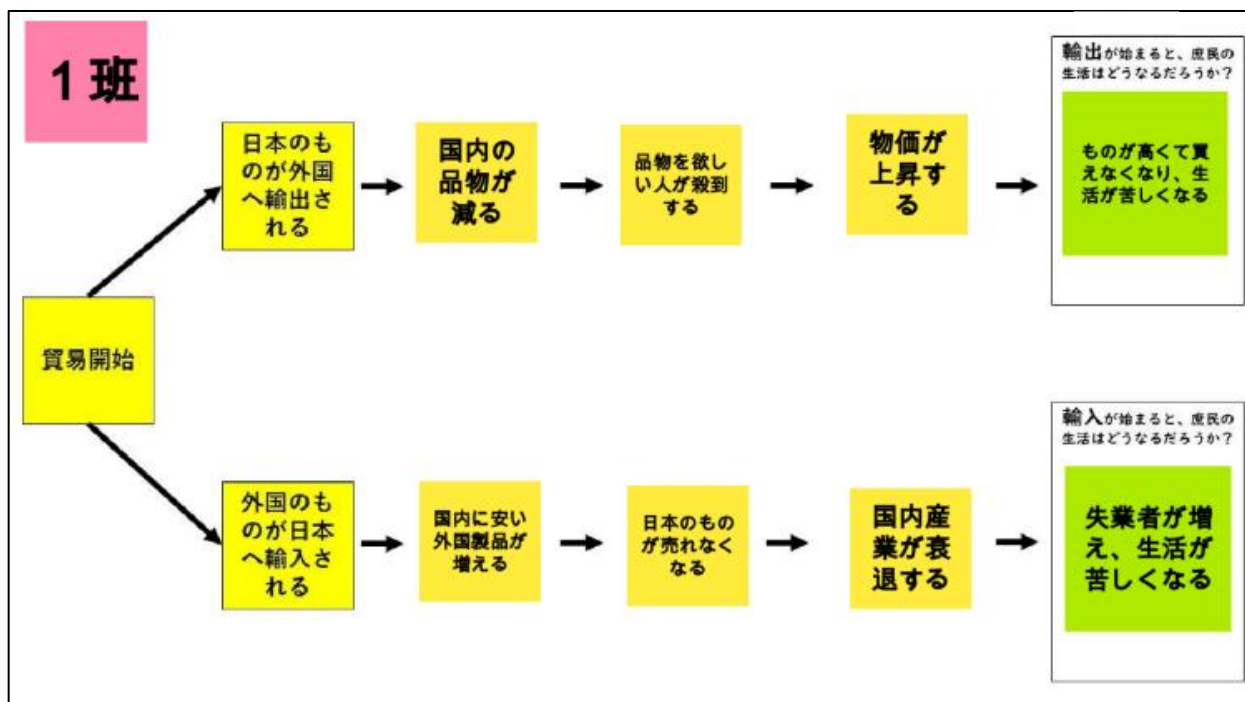
教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○開国影響シートを確認する。 [☆] ・経済面の影響について学習しよう。	○「開国影響シート」を活用することで、本時の学習について見通しをもてるようにする。
	<p>[本時のめあて]</p> <p>開国によって、日本の経済はどのような影響を受けたのだろうか。</p>	
展開 35分	2 開国後の経済の変化について理解する。 ○貿易開始の影響について考察する。 [☆] ・日本のものが外国に輸出される→国内が品不足になる→物価が上昇する ・外国のものが日本に輸入される→安い外国製品が日本に増える→国産が売れなくなる→国内産業が衰退する ・日本の材料が輸出されることで、物価が上昇し、庶民の生活が苦しくなる。 ・外国製品が輸入されることで、国内産業が打撃を受け、失業者が増える。 ○金銀の交換比率について理解する。 [☆] ・日本は金：銀＝1：5、海外では1：15。海外で両替した方が儲かる。 ・貨幣改鋳は綱吉の政策と同じだから、物価が上昇する。	○Google Jamboard を活用して、貿易開始の影響について、班で考察させることで、生活の変化について理解を深められるようにする。 ○デジタル教科書の資料を読み取ることで、考察結果の裏付けができるようにする。 ○補足として、「貿易の相手国の変化」の資料を確認させ、1865年にアメリカとの取引が激減していることから、アメリカの南北戦争とのつながりを説明する。 ○デジタル教科書を活用して、海外への金の流出を視覚的に捉えさせることで、金の流出を防ぐために、小判の質を落としたことに気付けるようにする。 ●金の流出の仕組みが理解できない生徒には、交換比率に着目させ、「日本なら金1枚を銀5枚と交換、海外なら金1枚を銀15枚と交換できる。あなたが商人なら日本と海外のどちらで交換するか」と問い掛け、海外に金を持ち出す商人が増えたことに気付かせ、金の流出を防ぐために小判の質を落としたということを理解できるようにする。 ◇貿易による物資の流出や金銀の交換比率に着目して、貿易開始による物価上昇について理解している。 (プリント、発言(知))
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。 [☆] [本時のまとめ] 貿易が始まったことにより、物価が上昇したり、国内の手工業が打撃を受けたりしたため、国民の生活が苦しくなった。 ○「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。 [☆] ○振り返りを入力する。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「国民の生活は苦しくなったが、開国せず国内だけでやっていたら、日本は発展するのか」と判断の前に異なる視点の声掛けを行うことで、考えを深められるようにする。 ◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由をきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。 ◇開国による物価上昇に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 (課題解決シート、発言(思判表))

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①開国影響シート (Google Jamboard)</p> <p>②物価の上昇 (各班の Google Jamboard)</p> <p>③「開国後の物価の変化」など (デジタル教科書)</p> <p>④金銀の交換比率 (デジタル教科書)</p> <p>⑤「今日のまとめ」</p>	<p>めあて 開国によって、日本の経済はどのような影響を受けたのだろうか。</p> <p>影響1 物価の上昇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内不足のため ・金の流出による貨幣改鑄のため <p>影響2 国内手工業が打撃を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安い外国製品が入ってくるため
---	--



〈資料4〉

Google Jamboard の活用例 (生徒作成)。六枚の黄色付箋を並び替える活動を通して、国内産業が衰退する仕組みを、順を追って理解できるようにした。また、輸入と輸出についての理解が曖昧だった生徒は、班で話し合う中で理解することができた。緑付箋は、貿易が始まると庶民の生活がどうなるかを班で考察した。ここでは、大量生産や原料を輸入して製品を輸出する加工貿易といった産業革命の影響に触れることで、欧米のアジア進出 (開国の影響) をより実感させることができる。

11 第5時の展開

(1) ねらい

薩摩藩や長州藩の動きや幕府の対応を整理する活動を通して、江戸幕府滅亡までの経緯を理解できるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○前時までの復習をする。 [☆] ・幕府の権威が失墜し、庶民も不満がたまってきた。 ・7年の間に何があったのだろう。	○1860年桜田門外の変と1867年大政奉還を描いた絵を提示し、幕末の7年間に興味をもたせることで、めあてをつかめるようにする。
	<p>[本時のめあて]</p> <p>どのような経緯で、江戸幕府は滅んだのだろうか。</p>	
展開 35分	2 幕府滅亡までの経緯を理解する。 ○薩摩藩と長州藩の動きを理解する。 [☆] ・長州藩は、下関戦争を経て、攘夷は不可能ということに気付いた。 ・薩摩藩は、薩英戦争を経て、攘夷は不可能ということに気付いた。 ・長州藩と薩摩藩は中が悪かった。 ・薩長同盟が結ばれたのはすごい。 ○民衆、幕府、新政府の動きを理解する。 ・庶民は、世直し一揆やええじゃないかをおこした。 ・幕府は、大政奉還をして、勢力を残そうとした。 ・新政府は、王政復古の号令を行って、徳川を排除し、新政府中心の政治にしようとした。 ○開国に対する人々の心情を考察する。 [☆] ・雄藩) 開国は倒幕に追い風だ。開国によって藩士がたくさん亡くなった。 ・庶民) 開国によって生活が苦しくなった。開国によって幕府が滅ぶからうれしい。 ・幕府) 開国したから滅んでしまった。開国して日本が発展するならそれでよい。	○Google スライドを活用し、長州藩と薩摩藩の動きを確認することで、倒幕へ向かう流れをつかみやすくする。 ○長州藩が攘夷派で、薩摩藩がそれを追放する役割を担っていたことを押さえることで、薩長同盟結成の難しさに気付けるようにする。 ○民衆、幕府、新政府の動きを理解する場面では、それぞれの心情や思惑を考察させることで、理解を深められるようにする。 ●大政奉還と王政復古の号令の違いが分からない生徒には、徳川の思惑と新政府の思惑を考察させたり、関係図を示したりする。 ◇雄藩や幕府の動きに着目して、江戸幕府滅亡までの経緯を理解している。 <プリント、発言(知技)> ○Google Jamboard を活用し、「雄藩」「庶民」「幕府」の三つの立場から、この頃の開国に対する心情を班で考察させる。その際、プラスの気持ちとマイナスの気持ちをそれぞれ考察させることで、多面的・多角的に当時の思いを捉えられるようにするとともに、単元の課題を考察する際の見方を広げられるようにする。
まとめ 10分	3 本時の学習を振り返る。 ○本時のまとめを行う。 [☆]	○生徒と授業を振り返り、生徒の言葉を生かしながら、今日のまとめを行う。 ◎「開国したことが、江戸幕府滅亡の原因なのか」「開国しなくても江戸幕府は滅亡したのではないか」「江戸幕府の滅亡は、日本にとってよかったのか」と判断

分	<p>[本時のまとめ]</p> <p>攘夷が困難と気付いた薩長が倒幕に動き、庶民の世直し一揆も多発した。そうした状況の中で、幕府は大政奉還を行い、滅亡した。</p> <p>○「学習後の判断」「判断を変えた理由 or 変えなかった理由」を入力する。[☆]</p> <p>○振り返りを入力する。[☆]</p>	<p>の前に異なる視点などの声掛けを行うことで、反対の立場を意識できるようにする。</p> <p>◎「学習後の判断」を前時の判断から変更してもよいことを伝え、変更する場合には、変更理由をきちんと明記することを伝える。また、変更しなかった場合は、なぜ変更しなかったのかを今日の学習も踏まえて入力するよう伝える。</p> <p>◇江戸幕府滅亡の経緯に着目して、単元の課題について考察し、自分の考えを表現している。 〈課題解決シート、発言（思判表）〉</p>
---	---	--

(4) 板書計画

<p>〈常設スクリーン〉</p> <p>①導入の絵 (Google スライド)</p> <p>②薩摩藩と長州藩の動き (Google スライド)</p> <p>③開国に対する心情 (各班の Google Jamboard)</p> <p>③「今日のまとめ」</p>	<p>めあて どのような経緯で、江戸幕府は滅んだのだろうか。</p> <p>〈雄藩の動き〉 薩長同盟 (1867) → 土佐藩の坂本龍馬の仲介 → 倒幕へ</p> <p>〈民衆の動き〉 世直し一揆、ええじゃないか</p> <p>〈幕府の動き〉 大政奉還 (1867.10) … 徳川慶喜 王政復古の発令 (1867.12) … 徳川の官職・領地返上 ※対立 戊辰戦争 (1868) … 新政府軍勝利</p>
--	--

雄藩	薩長同盟 王政復古の発令	この頃、人々は開国に対してどんな気持ちをもっていただろうか？ 様々な思いをたくさん書き出してみよう。						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 33%;">プラスの気持ちは黄</th> <th style="width: 33%;">マイナスの気持ちは青</th> <th style="width: 33%;">その他の気持ちは緑</th> </tr> <tr> <td> <p>開国によってイギリスと仲良くなれた</p> <p>開国によって産業革命の技術が入る</p> <p>開国によって外国の強国が現れた</p> <p>強い武器が手に入る</p> <p>これで倒幕できそう</p> </td> <td> <p>外国の下に付きたくない</p> <p>外国と戦うことになってたくさん死者が出た</p> <p>自分たちが弱いことがわかった</p> </td> <td> <p>外国って強い</p> <p>なんて開国なんてしたんだろう</p> </td> </tr> </table>			プラスの気持ちは黄	マイナスの気持ちは青	その他の気持ちは緑	<p>開国によってイギリスと仲良くなれた</p> <p>開国によって産業革命の技術が入る</p> <p>開国によって外国の強国が現れた</p> <p>強い武器が手に入る</p> <p>これで倒幕できそう</p>	<p>外国の下に付きたくない</p> <p>外国と戦うことになってたくさん死者が出た</p> <p>自分たちが弱いことがわかった</p>	<p>外国って強い</p> <p>なんて開国なんてしたんだろう</p>
プラスの気持ちは黄	マイナスの気持ちは青	その他の気持ちは緑						
<p>開国によってイギリスと仲良くなれた</p> <p>開国によって産業革命の技術が入る</p> <p>開国によって外国の強国が現れた</p> <p>強い武器が手に入る</p> <p>これで倒幕できそう</p>	<p>外国の下に付きたくない</p> <p>外国と戦うことになってたくさん死者が出た</p> <p>自分たちが弱いことがわかった</p>	<p>外国って強い</p> <p>なんて開国なんてしたんだろう</p>						

庶民	ええじゃないか 世直し一揆	この頃、人々は開国に対してどんな気持ちをもっていただろうか？ 様々な思いをたくさん書き出してみよう。						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 33%;">プラスの気持ちは黄</th> <th style="width: 33%;">マイナスの気持ちは青</th> <th style="width: 33%;">その他の気持ちは緑</th> </tr> <tr> <td> <p>開国のおかげで便利なものがたくさんくる</p> <p>幕府が潰れて新しい時代が来るぞ</p> <p>開国したことによって、世の中が変わる！</p> </td> <td> <p>開国のせいで物価が上がっちゃたじゃないか</p> <p>開国のせいで生活するのが苦しいよ</p> <p>開国で物価が下がった</p> <p>開国で物価が下がった</p> <p>開国のせいで井伊直弼が暗殺された</p> <p>俺らの苦労は何だったんだ...</p> </td> <td> <p>ほんとに江戸幕府は潰れるのかな？</p> <p>一揆で日頃のつらさを晴らすぞ</p> </td> </tr> </table>			プラスの気持ちは黄	マイナスの気持ちは青	その他の気持ちは緑	<p>開国のおかげで便利なものがたくさんくる</p> <p>幕府が潰れて新しい時代が来るぞ</p> <p>開国したことによって、世の中が変わる！</p>	<p>開国のせいで物価が上がっちゃたじゃないか</p> <p>開国のせいで生活するのが苦しいよ</p> <p>開国で物価が下がった</p> <p>開国で物価が下がった</p> <p>開国のせいで井伊直弼が暗殺された</p> <p>俺らの苦労は何だったんだ...</p>	<p>ほんとに江戸幕府は潰れるのかな？</p> <p>一揆で日頃のつらさを晴らすぞ</p>
プラスの気持ちは黄	マイナスの気持ちは青	その他の気持ちは緑						
<p>開国のおかげで便利なものがたくさんくる</p> <p>幕府が潰れて新しい時代が来るぞ</p> <p>開国したことによって、世の中が変わる！</p>	<p>開国のせいで物価が上がっちゃたじゃないか</p> <p>開国のせいで生活するのが苦しいよ</p> <p>開国で物価が下がった</p> <p>開国で物価が下がった</p> <p>開国のせいで井伊直弼が暗殺された</p> <p>俺らの苦労は何だったんだ...</p>	<p>ほんとに江戸幕府は潰れるのかな？</p> <p>一揆で日頃のつらさを晴らすぞ</p>						

幕府	大政奉還	この頃、人々は開国に対してどんな気持ちをもっていただろうか？ 様々な思いをたくさん書き出してみよう。						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 33%;">プラスの気持ちは黄</th> <th style="width: 33%;">マイナスの気持ちは青</th> <th style="width: 33%;">その他の気持ちは緑</th> </tr> <tr> <td> <p>開国によって幕府は終わるけど新しい時代がくるぞ</p> <p>ひとまず終わってほしかった</p> <p>開国によって新しい技術が入ってくる</p> </td> <td> <p>開国のせいで幕府が滅びた</p> <p>開国のせいで井伊直弼が暗殺された</p> <p>俺らの苦労は何だったんだ...</p> <p>開国で世間で権力がなくなった</p> <p>開国のせいで長州・薩摩藩があばれた</p> <p>幕府の終わりも近いな、...</p> </td> <td> <p>開国は正しかったのかな</p> </td> </tr> </table>			プラスの気持ちは黄	マイナスの気持ちは青	その他の気持ちは緑	<p>開国によって幕府は終わるけど新しい時代がくるぞ</p> <p>ひとまず終わってほしかった</p> <p>開国によって新しい技術が入ってくる</p>	<p>開国のせいで幕府が滅びた</p> <p>開国のせいで井伊直弼が暗殺された</p> <p>俺らの苦労は何だったんだ...</p> <p>開国で世間で権力がなくなった</p> <p>開国のせいで長州・薩摩藩があばれた</p> <p>幕府の終わりも近いな、...</p>	<p>開国は正しかったのかな</p>
プラスの気持ちは黄	マイナスの気持ちは青	その他の気持ちは緑						
<p>開国によって幕府は終わるけど新しい時代がくるぞ</p> <p>ひとまず終わってほしかった</p> <p>開国によって新しい技術が入ってくる</p>	<p>開国のせいで幕府が滅びた</p> <p>開国のせいで井伊直弼が暗殺された</p> <p>俺らの苦労は何だったんだ...</p> <p>開国で世間で権力がなくなった</p> <p>開国のせいで長州・薩摩藩があばれた</p> <p>幕府の終わりも近いな、...</p>	<p>開国は正しかったのかな</p>						

〈資料5〉

Google Jamboard の活用例 (見本)。プラスの心情を黄色、マイナスの心情を青、その他の心情を緑で入力させる。「雄藩」「庶民」「幕府」の三つを入力させると時間が足りないため、班で担当を割り振った。これまでの学習では、開国のデメリットが多かったため、ここでは、特にプラスの気持ちに着目させた。なかなかプラスの気持ちは出てこなかったが、意識して考えることで異なる視点から開国の影響について考えることができた。

12 第6時の展開

(1) ねらい

現時点における自分の考えと他者の考えとの交流を通して、新たな気づきや、異なる立場の意見を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを表現し、単元のまとめができるようにする。

(2) 準備

教科書、資料集、プリント、スクリーン、プロジェクター、タブレット端末

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応 [☆]：ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価項目<方法(観点)> [記]：記録に残す評価
導入 5分	1 本時のめあてをつかむ。 ○単元の課題について最終的に自分の考えをまとめ、単元のまとめを行うことを確認する。	
	<p>[本時のめあて]</p> <p>友達との意見交流を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。</p>	
展開 35分	2 自分の考えをまとめる。 ○これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ・開国すべき。なぜならば～。 ・鎖国を続けるべき。なぜならば～。 ○自分の考えを班で交流する。[☆] ・判断は一緒だが、そういう捉え方もあるな。 ・判断は異なるが、確かにそれも言える。 ○交流を踏まえて自分の考えを再検討する。[☆]	◎これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめる場面では、政治面と経済面の影響に触れながら、相手が納得いくような説明ができるように考えを整理するよう声掛けする。 ◎意見交流に際して、ディベートではないため、傾聴を心がけることを伝える。 ◎多面的・多角的な見方・考え方が広がるように、自分と異なる考えや立場に触れたときには、質問してもよいことを伝える。 ◎全体として極端に判断が偏る場合は、同じ判断で集まって共有した後、少数派の考えを全体で共有する。 ◎全体としては、判断は偏っていないが、班では全員同じ判断の場合は、班のメンバーを入れ替え、交流が深まるようにする。 ◎最終的な自分の考えをまとめる場面では、どちらを判断したかより、判断した理由を示すことが重要であることを伝える。 ●理由が明確になっていない生徒には、「一番印象に残っている授業は？」と問い掛けることで、政治面もしくは経済面に絞ることができるようにする。
	<p>〈予想される生徒の考えの例〉</p> <p>(開国すべき)</p> <p>欧米のアジア進出を見てみると、鎖国を続けていたら、外国の植民地になってしまう可能性があり、日本は滅んでしまうかもしれないと思った。また、開国によって物価が上昇し、庶民の生活が苦しくなったが、その反面、技術等も学ぶことができ、その後の日本の成長につながったと思うので、開国はすべきだったと思う。政治面から見ると、幕府の対応がまずかっただけで、天皇をきちんと説得させてから日米修好通商条約を結んでいれば、反感を買うこともなく、上手に開国できたと思う。また、江戸幕府の仕組みをすべて壊し、欧米に習って新しい仕組みを作り直さなければ、日本のさらなる発展は見込めないと思うので、その時の悪影響はあったとしても、開国すべきだと思う。</p>	

	<p>〈予想される生徒の考えの例〉 (鎖国を続けるべき)</p> <p>開国をしたことで物価が上昇したり、政治が混乱したりしたので、鎖国を続けるべきだった。当時の人々は本当に苦しかったと思う。日本のために考えれば、当時の人々が苦しんでいるので、開国はだめだったと思う。鎖国を続けていると、産業革命の影響が入ってこないことも考えられるが、オランダから情報が入ってきているので、急速な発展はできないとしても、確実に成長はできると思う。ペリーに対しては、毅然とした態度で接していれば、対応はできたと思うし、薪水給与令を出しているのだから、国際的にも理解はされると思う。そして、じっくりと日本国内の貨幣経済の浸透にきちんと向き合い、対応していけば、日本は開国せずとも発展していくので、日本のためにも鎖国を続けるべきだったと思う。</p>	
<p>ま と め 10 分</p>	<p>3 単元のまとめを行い、本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達の考えを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ こういう捉え方もあるんだ。 ・ 反対の立場も納得できるなあ。 ○「これまでの学習を踏まえたまとめ」をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸幕府が滅亡した理由は～。 ○「単元の振り返り」をまとめる。 [☆] 	<ul style="list-style-type: none"> ◎Google Google スプレッドシートに全員の考えを集約し、共有する時間を設定することで、単元の課題に対する考えを深められるようにする。 ◎「判断を左右した事柄は何だったのか」と声を掛け、欧米諸国の進出の影響の大きさに気付かせ、単元のまとめ（「江戸幕府が滅亡した理由について、欧米諸国の進出や国内の変化に注目してまとめよう」）につなげられるようにする。 ◇江戸幕府の滅亡について、欧米のアジア進出に着目して、多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現している。〈課題解決シート、発言（思判表）〉〔記〕 ◎「単元の振り返り」は、予想と比較するよう声かけし、判断の理由が多面的・多角的に深まっている生徒を称賛する。 ◇開国とその影響について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。〈課題解決シート、発言（態）〉〔記〕
	<p>〈「これまでの学習を踏まえたまとめ」の一例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米のアジア進出の勢いを把握した井伊直弼が、天皇の許可を得ずに日米修好通商条約を締結したことで、尊王攘夷派が反発し幕府の権威は落ちてしまった。また、貿易が始まったことで、品不足から物価が上昇したり、安い外国製品が入ることで手工業者が打撃を受けたりして、庶民の生活も苦しくなってしまった。そして、外国から援助を受けた雄藩が力をつけ、倒幕に動いたことから江戸幕府は滅亡した。 <p>〈「単元の振り返り」の一例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の考えと比較すると、今の考えの方が説得力あって、最初のころはずいぶん適切な考えだったと思った。 ・ 学習するごとに、開国すべきか鎖国を続けるべきか、判断には毎回悩みました。最終的に開国して今があるので、開国した方がいいと思いますが、開国してなかったらどんな国になっているのか知りたくなりました。 ・ 結局は、どちらの選択をしても、当時の政治家の頑張り次第なのかなとも思いました。 ・ 友達と最後に意見交流したが、確かにそういう見方があるなと思った。自分の考えも大切だと思うが、友達の意見も大切だと思った。 ・ 明治維新でどのような改革を行うのか知りたい。 ・ 産業革命の影響ってすごいと思った。 	

(4) 板書計画

〈常設スクリーン〉

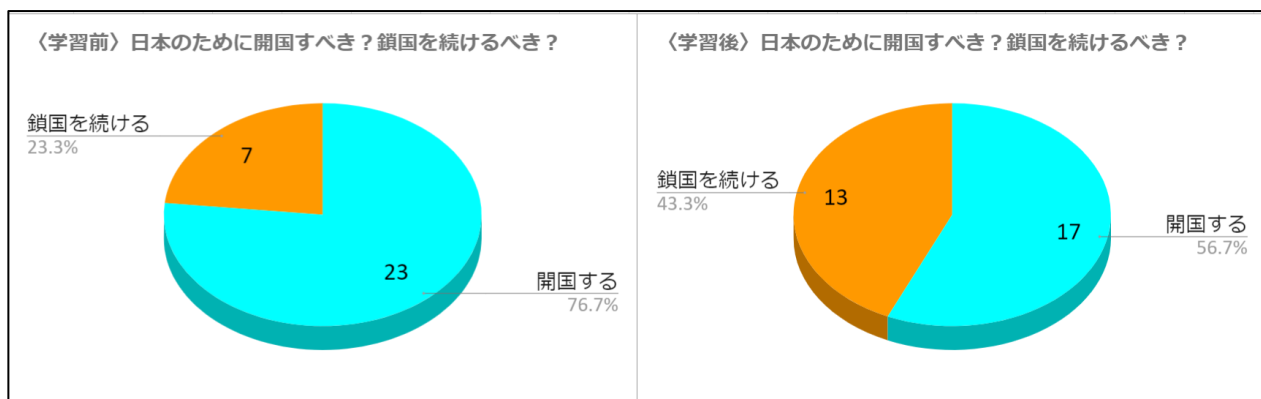
めあて 友達との意見交流を踏まえて、単元の課題に対する自分の考えを深め、単元のまとめをしよう。

私は〇〇と判断しました。なぜなら～。

番号	最初の考え	理由	最後の考え	理由
1	開国する	鎖国を続けていても幕府も経済的にきつと思ったから。また同じ体制をとって守りに入っても発展しないと思ったから。	開国する	私は鎖国を続けていても幕府側も庶民も苦しい生活をもっと長く続けなければならなかったと思い、開国をして新しい外国という空気を入れたほうが良いんじゃないかと思ったからです。そして外国との交流は最初は日本がほとんど不利な状態での貿易が続いていて可哀想だと思ったけど、滅亡間近で薩摩、長州藩が外国と良い関係を持ってくれたおかげで、滅亡したあとも外国の新しい文化が入ってきて、日本にとって色んな方面で良い状態になっていったので良かったと思いました。
2	開国する	開国しなかったら、アメリカとかに賣められてしまう危険性もあったし、他の国との貿易もできるのでもいいと思う。	鎖国を続ける	開国したことによって、外国との貿易をする条約が結ばれたし、日本にとって不利な条約だったから。その事によって庶民も苦しくなったから。また、貿易をして物価が上昇し、庶民の生活が苦しくなってしまったから。また、薩摩藩や長州藩が外国と戦うことになってしまって、戦ったら、周りにも被害が出るから、庶民も苦しかったから。
3	鎖国を続ける		鎖国を続ける	ヨーロッパにとってメリット・デメリットは少ないし、徳川の政治が続いていると、世界と比べて国力は低いが、不平等条約は結ばれないし、庶民の生活は苦しいけど外国には支配はされないから。
4	開国する	鎖国をずっとしていたら日本の技術や文化が発展しないから。	開国する	鎖国を続けていると、幕府は他国のことを知らないまま政策を行ってしまうので戦争などが起こりやすく、庶民の不満が高まったりするからよくないと思いました。それなら開国を行って海外の情報を手に入れば、日本の文化が変わったり日本全体が上がるなどメリットがたくさんあるから。
5	鎖国を続ける	開国をしたことでメリットがあったが、デメリットも少なくなかったから。	鎖国を続ける	開国をしたことで、不平等な条約を結ばれた。そして、頻繁に貿易を行うことで物価が上昇してしまったり、生活に苦しくなってしまったりして、世の中が不安になってきてしまった。そこで慶喜は大政奉還を行い少しでも、世の中を元に戻そうと感じられたから。
6	開国する	幕府の勢力は衰えてきていたし開国をしないと世界で一番遅れていることになるし発展しないままの日本になるから。	開国する	幕府は支配力がだんだん下がって行って、鎖国を続けていたらいずれ崩れていたと思うし、外国とのやり取りがあって外国の情報が日本にいい影響を与えたり、開国して日本の経済が落ちてしまえば庶民に打撃があったが、これから日本を改善していくためのポイントになったのではないかなと思ったから。

〈資料6〉

全員の考えが集約された Google スプレッドシートの一部。各生徒の課題解決シートがタブになっているため、「単元の課題に対するまとめ」に入力された個人に考えを一枚のシートに集約することができる。班は四人なので、交流できる人は多くて三人である。そこでこのようなシートを作成し、より多くの考えに触れられるようにした。



〈資料7〉

判断を集約した円グラフ。単元の振り返りの前に参考程度に示す。生徒は、最終的な自分の立ち位置を知りたいものである。紹介するときは、どちらが正解とかではなく、根拠を明確に示しながら理由付けができていることが大切であると声掛けを行うことが重要である。